arkray

自己検査用グルコース測定器

GLUCOCARD™ MyDIA

グルコカード™マイダイア

GT-1670 取扱説明書

ご使用前は必ずこの取扱説明書を読み、
主治医の指導にしたがってください。

1 はじめに

このたびは、グルコカード　マイダイアをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

●この取扱説明書には、グルコカード　マイダイアを使って血糖値を測定するための操作方法と注意点が書かれています。

●お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しい操作で血糖値を測定してください。

●あわせて、自己検査用グルコースキット「ダイアセンサー *」と採血器具、採血針の添付文書および取扱説明書もお読みになり、注意事項をお守りください。

●この取扱説明書は、必要なときにすぐ取り出せる場所に保管してください。

EMC 適合

本測定器は、EMC適合規格JIS T0601-1-2:2002に適合しています。
特記事項：CISPR11 グループ1　クラスB

＊体外診断用医薬品　承認番号20700AMZ00264000

・化粧箱および取扱説明書のグルコカード　マイダイアのイラスト表示は簡略化してありますので、実際とは異なります。

©2008　アークレイ株式会社

表記記号について

この取扱説明書では、注意していただきたい事項に以下の表記記号をつけています。

警告 記載事項を守らないと、使用者または周囲の人が命の危険にさらされることがあります。

注意 記載事項を守らないと、使用者または周囲の人がけがをしたり、物的損傷を受けたり、正しい測定結果を得られなかったりすることがあります。

重要 正しい操作と測定のために、おぼえておいていただきたい情報です。測定器の故障につながる取り扱い、正しい測定結果を得られない原因、および機能の正しい使用方法について記載しています。

参考 知っておくと便利な情報が記載されています。

もくじ

はじめに

はじめに....1
表記記号について....2
もくじ....3
説明の流れ....5

使用上の注意

使用上の注意....7

準備

グルコカード　マイダイアとは....19
各部の名称....21
梱包品の確認....22
　点検チップについて....23
動作チェック....24
別売品の準備....28
　ダイアセンサーについて....29
　採血器具....31

測定

血糖値の測定....33

便利な機能

機能を正しく設定するために....49
測定結果に食後マークをつける....50
測定結果にデリートマークをつける....55
記憶データを呼び出す....58
記憶データをすべて消去する....63
食事開始時刻を記憶させる....66
各種機能の設定....71
　各種機能の設定モードに切り替える....72
　設定画面の流れ....75
　1. ブザー音の設定....76
　2. 平均値表示の設定....77
　3. 食事開始時刻記憶の設定....78
　4. End表示....79
日付時刻表示の設定....81
　日付時刻表示の設定モードに切り替える 82
　1. 日付時刻表示の設定....83

2. 日付時刻の設定 84
3. 時刻表示タイプの設定 87
電池を交換する 88
交換のしかた 89
時計バックアップ機能について 93
コントロール液を用いた精度確認 94

困ったときは

操作方法に困ったときは 103
表示部に表示される記号・マーク 116
エラーの原因と対応方法 133

仕様 137
保証規定 139
索引 141

説明の流れ

この取扱説明書は、6つの章で構成されています。

グルコカード　マイダイアを正しくお使いいただくためには、すべてをお読みいただくことが大切ですが、「使用上の注意」「準備」「測定」の章は必ずお読みください。

製品の仕様、保証規定、索引は、この取扱説明書の最後に記載しています。ご参考にお読みください。

はじめに	この取扱説明書について説明しています。	P1～P6
使用上の注意	安全にお使いいただくための注意事項です。 ご使用前に必ずお読みください。	P7～P17
準　備	測定の準備について説明しています。 必ずお読みください。	P19～P31
測　定	血糖値の正しい測定方法について説明しています。必ずお読みください。	P33～P48
便利な機能	過去の測定結果の呼び出しや各種設定など便利な機能についての説明です。	P49～P102
困ったときは	思いどおりに操作できないときやエラーが発生したときにお読みください。	P103～P135

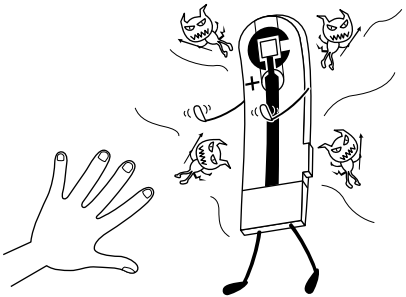
7 使用上の注意

グルコカード　マイダイアを正しく、安全にお使いいただくために守っていただきたいことを以下に示します。

警告

実際の血糖値より高値を示すことがあるので、以下の患者には使用しないでください。
〔その偽高値に基づいてインスリン等の血糖降下剤を投与することにより、昏睡等の重篤な低血糖症状があらわれるおそれがあります。〕

・プラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者

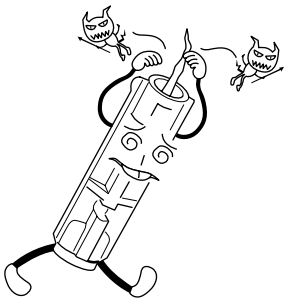


警告

血糖値を測定したあとのダイアセンサーには血液が付着しています。病原微生物などの感染を防ぐために、医師の指導に従って他の人に触れないように廃棄してください。

警告

ダイアセンサー、採血針、電池は乳幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

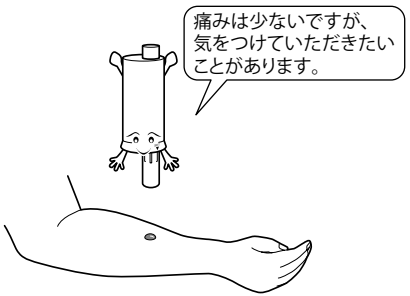


警告

感染の危険がありますので、一度使った採血針は必ず廃棄してください（詳しくは採血針の添付文書をお読みください）。

警告

使用済みの採血針には血液が付着しています。病原微生物などの感染を防ぐために、他の人に触れないように廃棄してください（詳しくは採血針の添付文書をお読みください）。

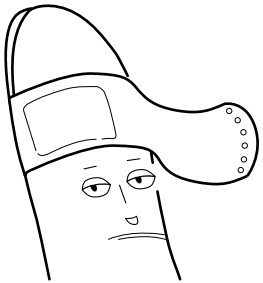


警告

前腕用採血器具をご使用いただくことで、前腕からの採血による測定ができますが、右のようなときには、指先から採血をしてください。

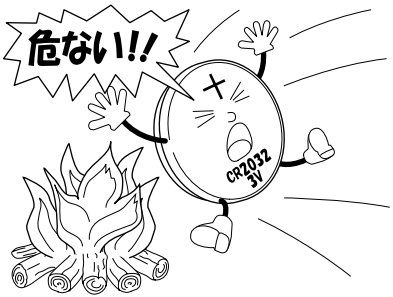
- 運動のあとなど、血糖値が急激に変化する可能性のあるとき
- 発汗/冷や汗、浮揚感、震えなど低血糖の症状があるとき
- 血糖低下状態で、すぐに低血糖かどうか知る必要があるとき
- かぜをひいたときなど、体調のすぐれないとき

重要 **急激な血糖の変動が認められるとき、「前腕の血糖変動は指先よりも遅れることがある」という報告があります。**



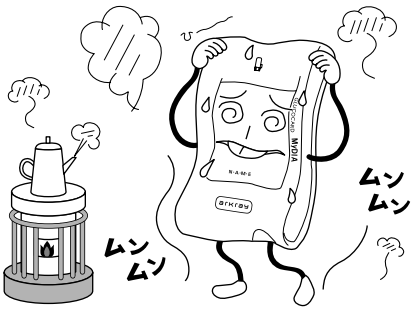
警告

感染の危険がありますので、採血部位の消毒を必ず行ってください。また、採血後は必要に応じてばんそうこうなどで止血および保護をしてください。傷口が治りにくいときは、こまめに消毒してください。



警告

使用済みの電池を加熱したり、火に投げ入れたりしないでください。破裂してけがを負うおそれがあります

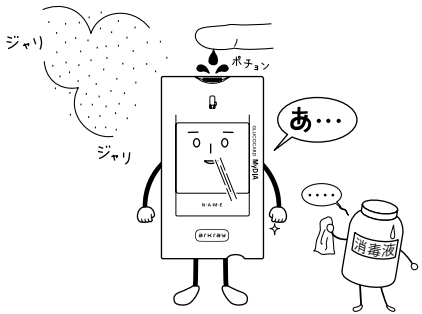


注意

グルコカード　マイダイアとダイアセンサーを収納ケースから取り出し、温度10～40℃、湿度20～80%の環境に20分以上なじませてから測定をしてください。なじんでいない場合、温度補正が正常に行われないため正しい測定結果が得られません。また、温度変化の激しいところや湿度の高いところでは、グルコカード　マイダイアの内部に水滴が発生して正しい測定結果が得られません。グルコカード　マイダイアは、0～50℃の環境で保管してください。

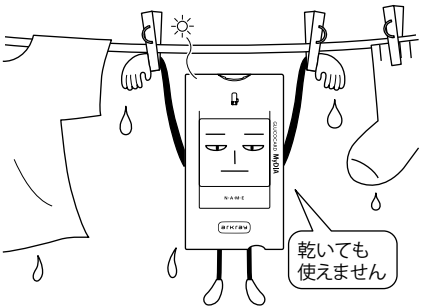
注意

センサー挿入口の周辺を持たないでください。この周辺には、温度補正をすることによって測定誤差を小さくするための温度センサーが内蔵されています。手のぬくもりの影響で、正しい測定結果が得られません。



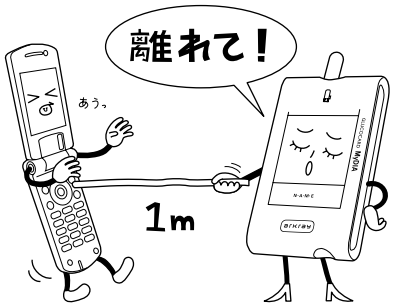
注意

センサー挿入口に、血液や水分、ほこりなどを入れないでください。正しい測定結果が得られなかったり、作動しなくなる原因になります。グルコカード　マイダイアが汚れたときは、水で湿らせたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。消毒液などを付けて強くふくと、表示部に傷がつくおそれがあります。



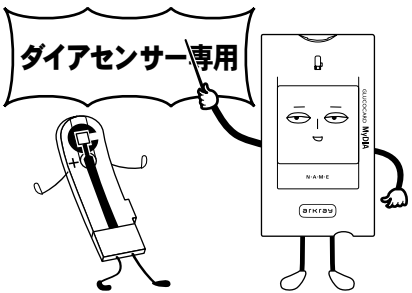
注意

水中に落としたり、内部に水分が流入したグルコカード　マイダイアは、たとえ乾燥させたあとでも使用しないでください。正しい測定結果が得られなかったり、グルコカード　マイダイアが誤動作することがあります。



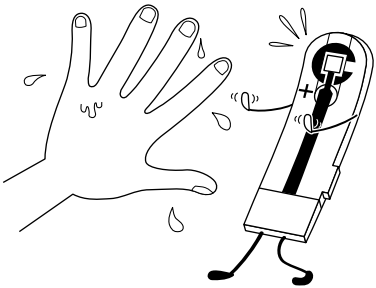
注意

テレビ、電子レンジ、携帯電話、低（高）周波治療器などの電磁波を発生する電子機器の近くでは、正しい測定結果が得られないことがあります。電子機器の電源を切るか、または電子機器から1 m以上離して測定してください。



注意

測定には、必ずグルコカード　マイダイア専用センサー「ダイアセンサー」をご使用ください。他のセンサーでは測定できません。また、センサー挿入口に他のセンサーを無理やり差し込まないでください。故障の原因となります。



注意

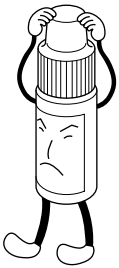
ダイアセンサーを開封して長時間放置したり、手で持ったままにしないでください。また、濡れたり汚れたりした手で持たないでください。正しい測定結果が得られません。

注意

一度、血液またはコントロール液を吸引させたダイアセンサーは使用しないでください。正しい測定結果が得られません。

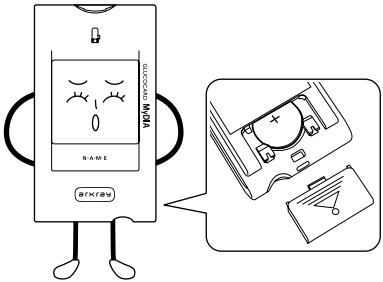
注意

使用期限が過ぎたダイアセンサーは使用しないでください。正しい測定結果が得られません。



注意

コントロール液のふたはしっかりと閉めて保存してください。ふたがゆるんでいると、正しい測定結果が得られません。



注意

電池は正しい向きに入れてください。作動しないだけでなく、時刻の設定がリセットされることがあります。

MEMO

グルコカード　マイダイアとは

グルコカード　マイダイアは、血糖値を自己管理するための自己検査用グルコース測定器です。グルコカード　マイダイアには、以下の特長があります。

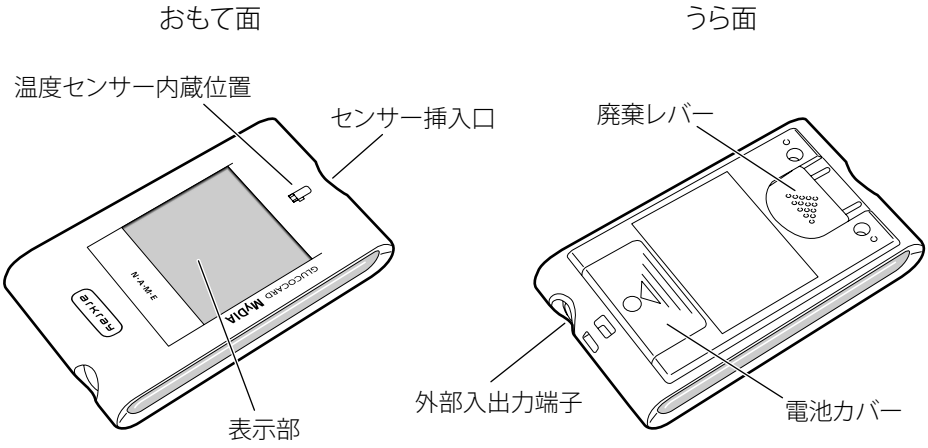
●補正の必要がないため、すぐに測定をはじめることができます
●キー操作は不要です。血液を吸引すると自動的に測定がはじまります。
●血液を吸引してから、15秒で測定結果が得られます。
●表示部が大きいため、測定結果がひと目でわかります。
●廃棄レバーにより、手で触れることなく使用済みのダイアセンサーを廃棄できます。
●250回分の測定結果が記憶され、あとで測定結果を呼び出すこともできます。
●食後の測定結果に食後マークをつけることができます。また、食事開始時刻を記憶させ、食事開始からの経過時間を画面に表示することができます。

そのほかにも便利な機能があります。

機能	説明	出荷時
ブザー音	ブザー音の種類を変更します（76ページ参照）。	高い音
平均値表示	測定結果の呼び出しの最初に測定結果の平均値を表示できます（77ページ参照）。	オフ
食事開始時刻記憶	食事開始時刻を記憶できるように設定します（78ページ参照）。	オフ
日付時刻表示設定	血糖値の測定やコントロール液の測定の際に、必要に応じて日付時刻の表示（表示/非表示）を切り替えることができます（83ページ参照）。	オン
日付時刻設定	内蔵時計の日付（年月日）と時刻を合わせます（84ページ参照）。	（設定済み）
時刻表示タイプ	時刻の表示形式（12時間表示と24時間表示）を切り替えます（87ページ参照）。	12時間表示

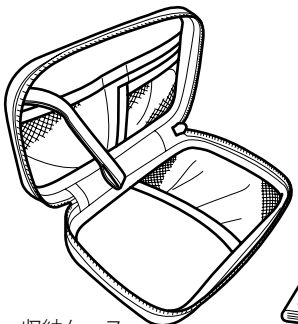
各部の名称

この取扱説明書では、グルコカード　マイダイアの各部を以下のように呼びます。



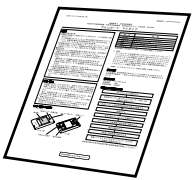
梱包品の確認

グルコカード　マイダイアの箱の中には、以下のものが入っています。これらがすべてそろっていることを確認してください。


収納ケース

グルコカード
マイダイア

点検チップ


添付文書

取扱説明書

保証書・
保証書登録カード

個人情報保護シール

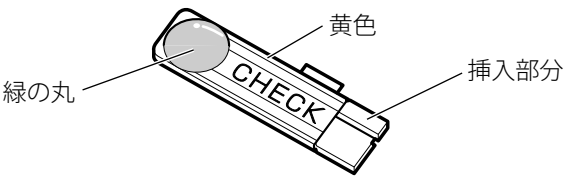
参考 グルコカード　マイダイアには出荷時に電池が装填されております。

点検チップについて

付属の点検チップ（黄色）は以下の操作に使います。

●グルコカード　マイダイアの動作チェック

●記憶データの呼び出しや消去、日付時刻表示、各種設定の操作



警告

点検チップは、乳幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

重要 点検チップを折ったり曲げたりしないでください。

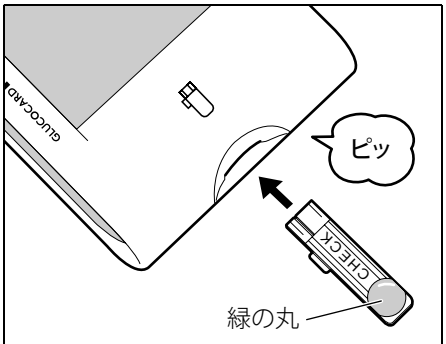
重要 点検チップは収納ケースに入れて大切に保管してください。

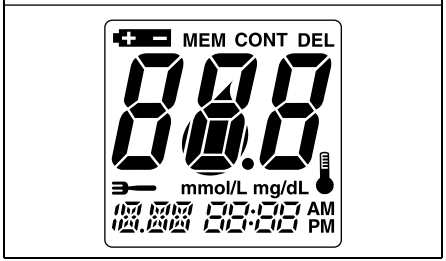
参考 日付時刻表示や各種設定は点検チップを使わず、専用ソフトウェア(医療従事者用)をインストールしたパソコンからでも設定できます。詳しくは販売元にお問い合わせください。

動作チェック

はじめてグルコカード　マイダイアを使用するときは、点検チップを使って正常に動作するか確認してください。その後は、定期的にまたは異常が認められたときに動作を確認してください（測定のたびにする必要はありません）。

1 点検チップを差し込む



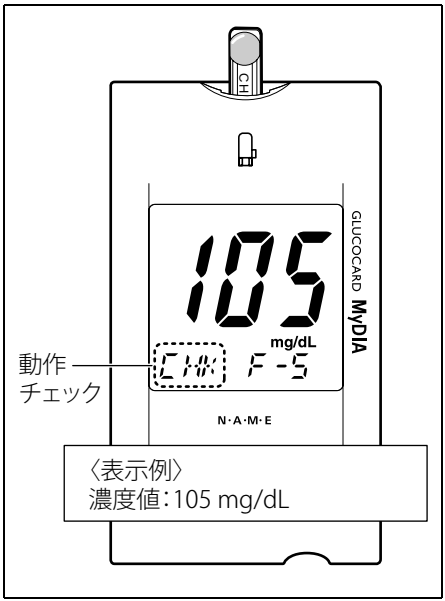


●点検チップ（黄色）の裏表と向きを確認します（左図参照）。

●点検チップをセンサー挿入口の奥までしっかりと差し込みます。

●「ピッ」と鳴って電源が入り、左図のように表示部が全表示します。

2 濃度値を確認する



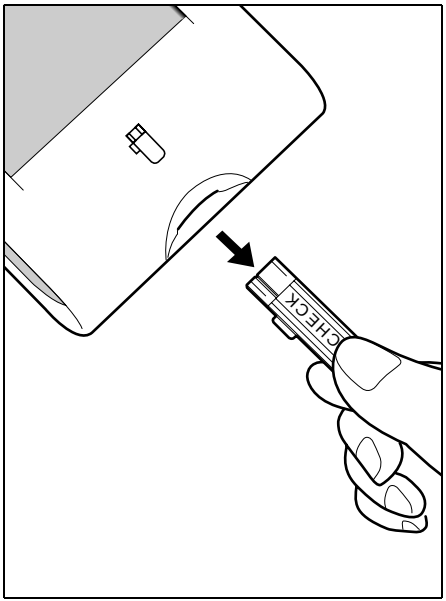
●2秒後、濃度値が表示されます（10秒間）。

「95～115 mg/dL」の濃度範囲内であれば、グルコカード　マイダイアは正常に動作しています。

重要 **濃度範囲外のとき⇒108ページ参照**

参考 **F-5の表示は、グルコカード　マイダイアが補正番号「F-5」のダイアセンサー専用であることを示します。**

3 点検チップを抜く



●点検チップを手で抜きます。

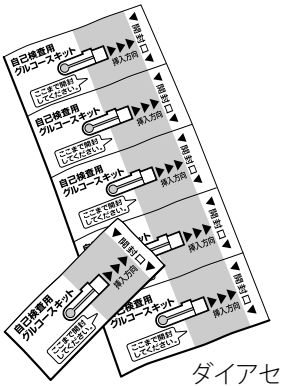
2秒後に電源が切れます。

参考 **点検チップを差し込んだまま 10 秒たつと、「ピッ」と鳴って記憶データが表示されます（58ページ参照）。点検チップを抜くと電源が切れます。**

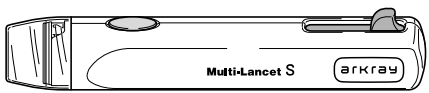
●点検チップを保管袋にしまいます。

別売品の準備

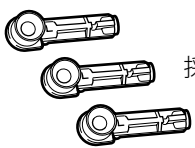
グルコカード　マイダイアをお使いいただくには、以下の別売品をご用意ください。



ダイアセンサー



採血器具



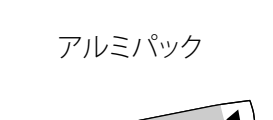
採血針

重要 ダイアセンサーおよび採血針は、使用期限内のものをご用意ください。

ダイアセンサーについて

センサーには「ダイアセンサー」をお使いください。お使いの前にはダイアセンサーに付属の添付文書をよくお読みください。

アルミパック



グレー

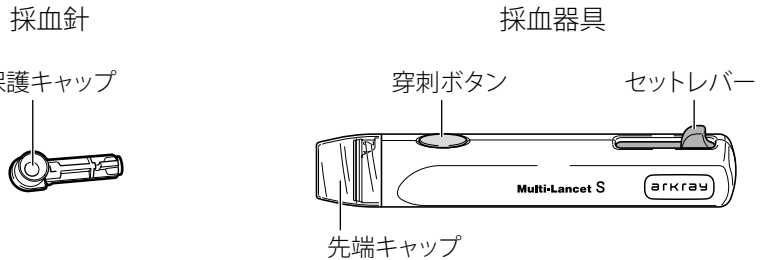
ダイアセンサー

重要 ダイアセンサーは使用期限内のものをお使いください。

参考 ダイアセンサーは自己検査用グルコース測定器「トーエコースーパー」、「トーエコースーパーⅡ」、「グルコカードシリーズ」の専用センサーです。

MEMO

採血器具



重要 以下のような末梢血流が減少した患者の指先から採血した場合は、低値を示すことがあります。

・脱水状態　・ショック状態　・末梢循環障害

重要 詳しい取り扱い方法については、採血器具および採血針の添付文書および取扱説明書をお読みください。

参考 弊社では各種、採血器具をご用意しております。また、対応する各種採血針もご用意しております。

MEMO

血糖値の測定

指先から採血し、グルコカード　マイダイアで血糖値を測定する方法を説明します。まず、以下のものを準備してください。

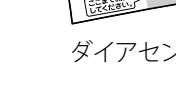
グルコカード
マイダイア

ダイアセンサー

採血器具

採血針

ばんそうこう

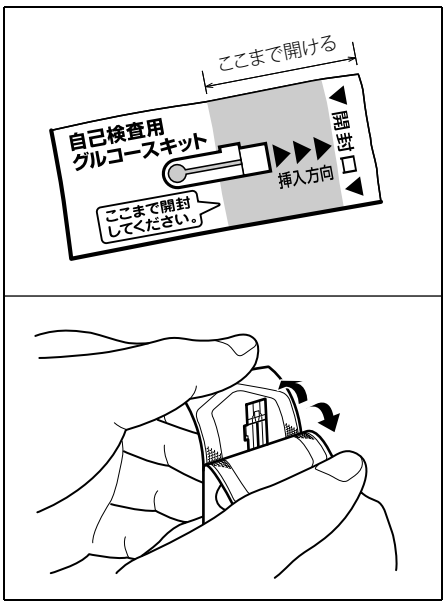


消毒綿

記録用紙
自己管理ノートなど

重要 **採血器具と採血針の取り扱い方法については、あらかじめそれぞれの添付文書および取扱説明書をお読みいただきご確認ください。**

1 ダイアセンサーを開封する

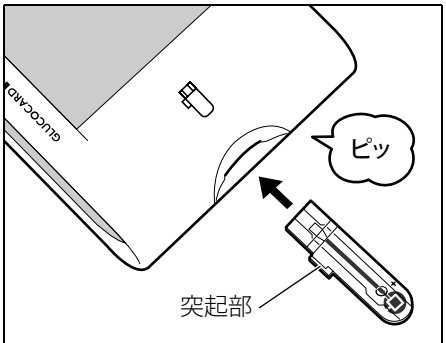


●アルミパックを開封範囲まで開け、ダイアセンサーを取り出します。

重要 アルミパックは全部開かないでください。全部開くと球状の乾燥剤が出てきます。この乾燥剤は無害ですが、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

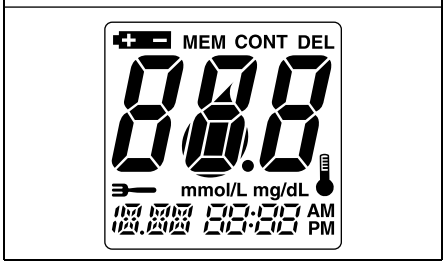
重要 開封後はダイアセンサーを長時間放置したり、手で持ったままにしないでください。濡れたり汚れたりした手では持たないでください。正しい測定結果が得られません。

2 ダイアセンサーを差し込む



●ダイアセンサーの裏表と向きを確認します（左図参照）。

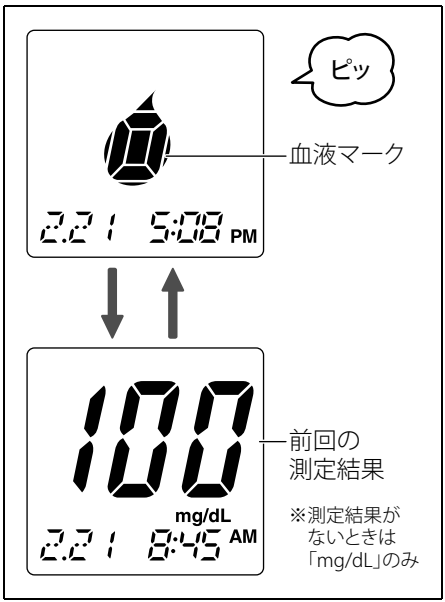
●ダイアセンサーをセンサー挿入口の奥までしっかりと差し込みます。



●「ピッ」と鳴って電源が入り、左図のように表示部が全表示します。

重要 **この表示中はダイアセンサーに血液を接触させないでください。測定できないことがあります。**

3 表示部を確認する

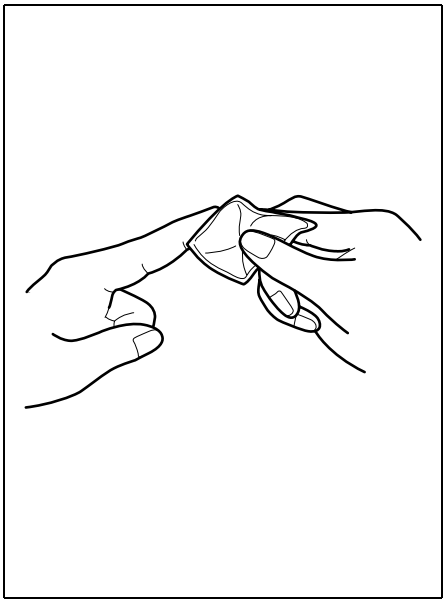


●もう一度、「ピッ」と鳴り、血液マーク（🩸）と前回の測定結果が交互に表示されていることを確認します。

参考 この後の消毒と採血は3分以内におこなってください。3分たつと自動的に電源が切れます。

参考 はじめて測定するときなど、前回の測定結果がないときは、測定結果は表示されず、🩸と単位（**mg/dL**）のみが交互に表示されます。

4 手を洗う



●流水で必ず手を洗ってください。

重要 果物等の糖分を含む食品などに触れた後、そのまま指先から採血すると指先に付着した糖分が血液と混じり、高値を示すおそれがあります。

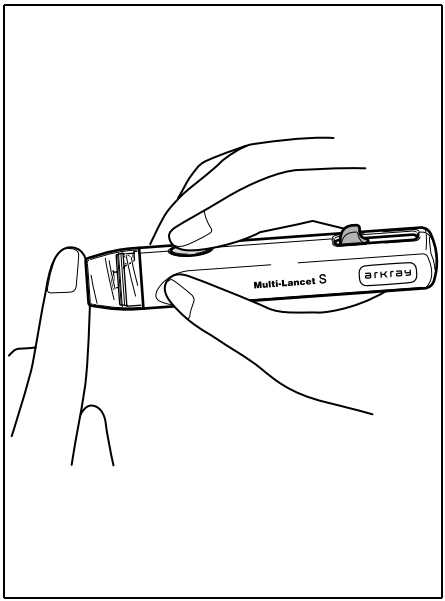
●採血する指先を消毒綿で消毒して、十分に乾燥させます。

警告

感染の危険がありますので、採血部位は必ず消毒してください。

重要 採血部位を十分に乾燥させてください。乾燥が不十分な場合は正しい測定結果が得られません。

5 採血をする

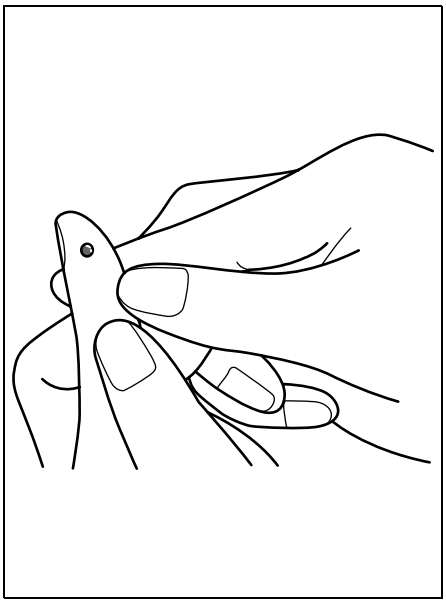


●採血器具に採血針をセットします。詳しくは採血器具の取扱説明書をお読みください。

●採血針の先端を指にあてて刺し、小さな傷をつくります。採血針は一瞬だけ皮膚を刺し、自動的に戻ります。

警告

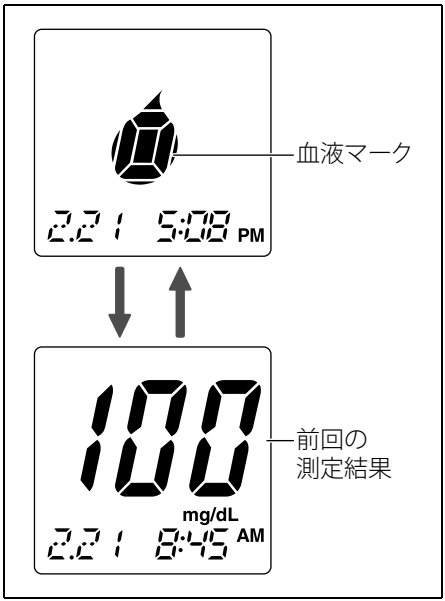
感染の危険がありますので、一度使用した採血針は必ず廃棄してください。採血針は1回限りの使い捨てです。



●刺し傷をつけたまわりを軽く押し、米粒の半分大の血液を出します。

参考 **血液の出が悪いときは、採血する部位を温めたり、マッサージをしたりして、血行を良くしてから採血しなおしてください。**

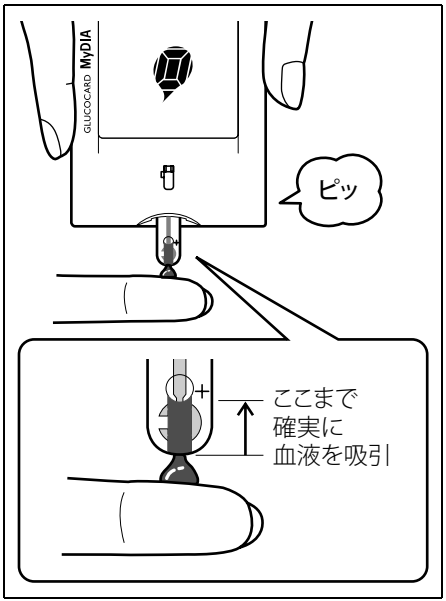
6 表示部を再確認する



●もう一度、血液マーク（）と前回の測定結果が交互に表示されていることを確認します。

参考 表示が消えてしまった場合は、ダイアセンサーを抜き取り、もう一度差し込むと電源が入ります。

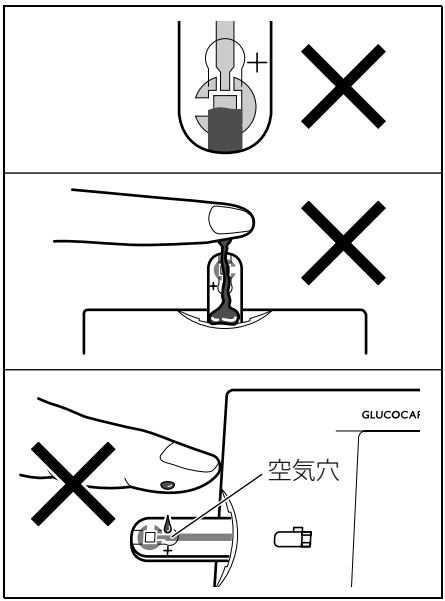
7 血液に接触させる



●ダイアセンサーの先端が下にくるようにグルコカード　マイダイアを持ちます。

●ダイアセンサーの先端部分に指の血液を接触させます。

●血液が吸引されると「ピッ」と鳴ります。

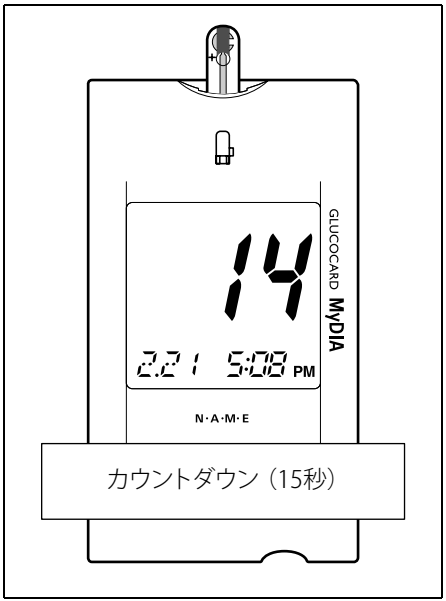


重要 E-9が表示された場合、血液の吸引量が足りません（135ページ参照）。

重要 ダイアセンサーの先端を上向きにした状態で血液に接触させないでください。採血した血液が多い場合にセンサー挿入口から測定器内部に血液が流入し、故障の原因となります。

重要 ダイアセンサーの空気穴に血液をつけても測定できません。必ず先端を血液に接触させてください。

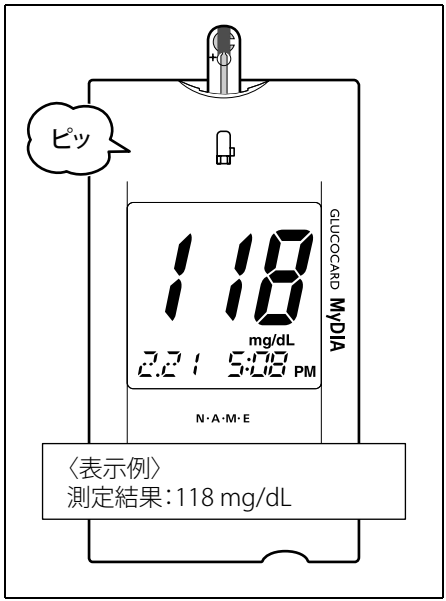
8 測定中の表示



●測定終了までの時間（14秒～）がカウントダウン表示されます。

重要 測定結果が表示されるまで、ダイアセンサーを抜かないでください。

9 測定結果を確認する



●15秒後に「ピッ」と鳴り、測定結果が表示されます。測定結果は自動的に記憶されます。

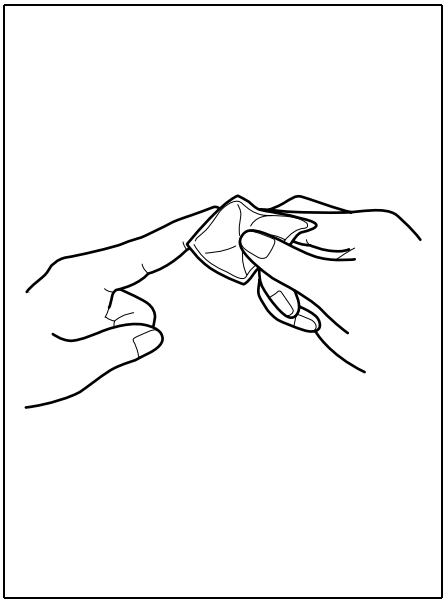
重要 Lo または Hi と表示されたとき
⇒109ページ参照

重要 異常低値を示したとき⇒106ページ参照

参考 測定結果にデリートマーク（**DEL**）を付けるには⇒55ページ参照

参考 過去の測定結果を呼び出すには
⇒58ページ参照

10 採血部位を消毒する

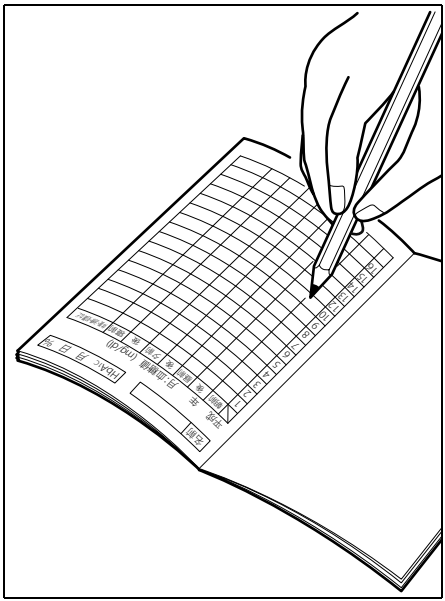


●採血した部位を、消毒綿などで消毒します。

警告

感染を防ぐため、採血部位は必ず消毒してください。また、必要に応じてばんそうこうなどで止血および保護をしてください。傷口が治りにくいときは、こまめに消毒してください。

11 測定結果を記録する



●測定結果を手帳（自己管理ノートなど）に記録します。

重要 測定結果をかかりつけの医師に報告し、今後の治療方針について相談してください。

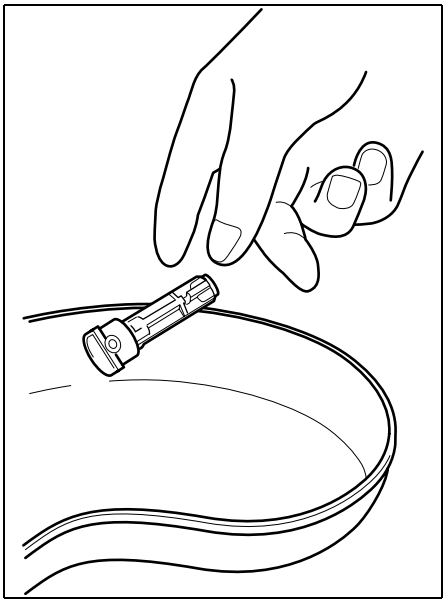
12 ダイアセンサーを捨てる

●廃棄レバーをスライドさせ、使用済みのダイアセンサーをはずします。電源が自動的に切れます。

警告

病原微生物などの感染を防ぐため、血液が付着したダイアセンサーは、他の人に触れないように廃棄してください。

13 採血針を捨てる



●採血器具から使用済みの採血針をはずします。
●かかりつけの医師の指導にしたがって、採血針を廃棄します。

警告

病原微生物などの感染を防ぐため、使用済みの採血針は、他の人に触れないように廃棄してください。また、かかりつけの医師の指導にしたがってください。

重要 **採血器具と採血針の取り扱い方法は、それぞれの添付文書および取扱説明書をお読みください。**

機能を正しく設定するために

各機能の説明（50〜102ページ参照）で

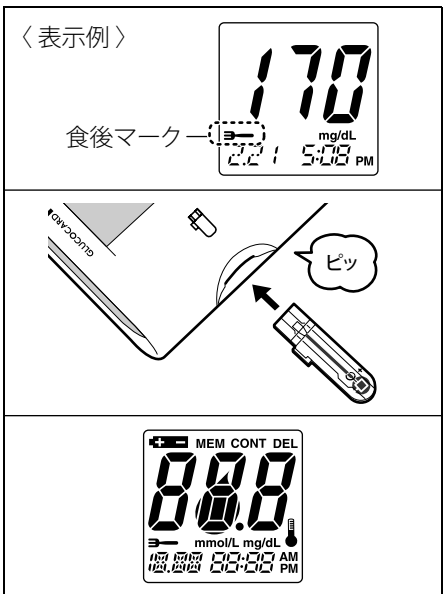
点検チップ（またはダイアセンサー）を抜き差しします。

という指示があるときは、次のように操作してください。

警告

測定結果にデリートマーク（DEL）をつけるとき（55ページ参照）は、感染を防ぐためダイアセンサーをアルミパックで包んで抜き差ししてください。

測定結果に食後マークをつける

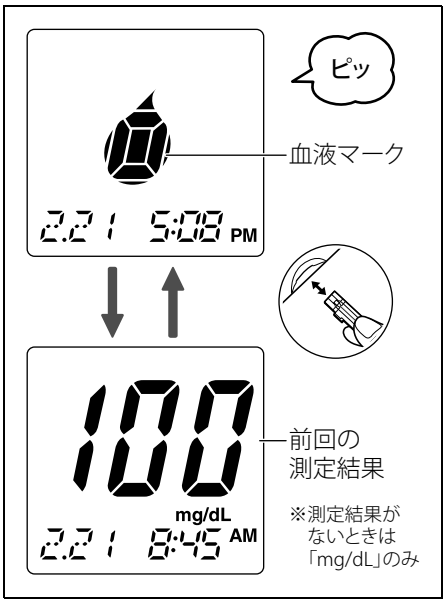


食後に測定した血糖値であることがわかるように、測定結果に食後マーク（ ）をつけることができます。

①ダイアセンサーをセンサー挿入口の奥までしっかりと差し込みます。

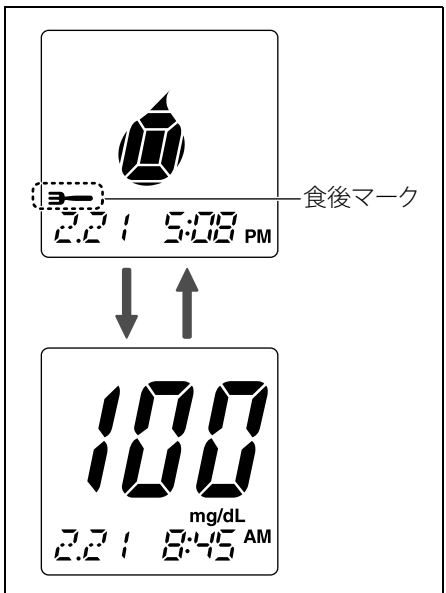
「ピッ」と鳴って電源が入り、表示部が全表示します。

重要 **この表示中はダイアセンサーに血液を接触させないでください。測定できないことがあります。**

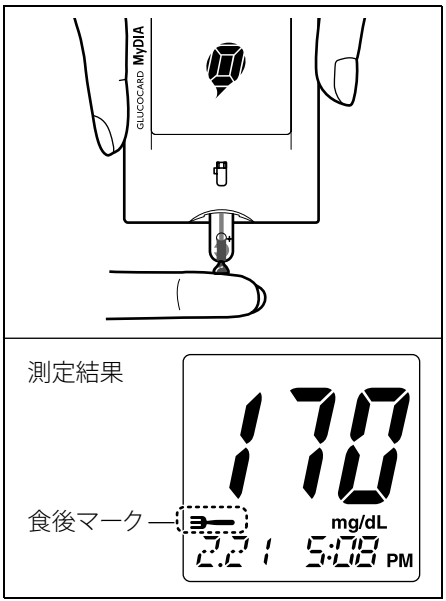


②もう一度、「ピッ」と鳴り、血液マーク（）と前回の測定結果が交互に表示されます。

この表示のあいだに、ダイアセンサーを抜き差しします。



③ が表示されます。



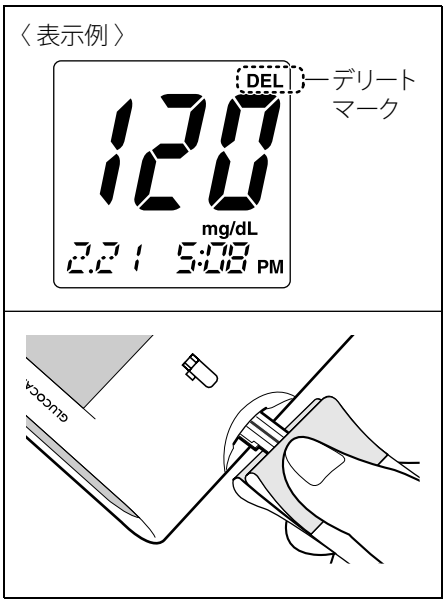
④採血し、血糖値を測定します（37ページの手順4～43ページの手順8参照）。

⑤測定結果に ⫶— がつきます。

⑥廃棄レバーをスライドさせ、ダイアセンサーをはずします。電源が自動的に切れます。

これで、測定結果に🍽がついて記憶されました。

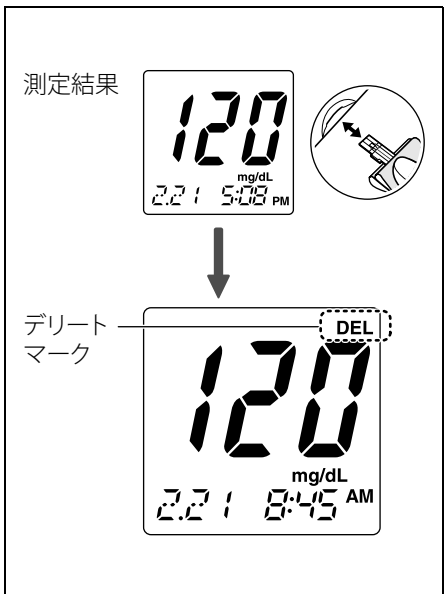
測定結果にデリートマークをつける



明らかに正しい測定結果ではないと思われる場合は、測定結果にデリートマーク（**DEL**）をつけることができます。
DELのついた測定結果は記憶されますが、平均値の計算には含まれません（77ページ参照）。

参考 **食後マーク（ヨ━）がついた測定結果に**DEL**をつけると、ヨ━は消えます。**

①測定後（44ページ参照）、ダイアセンサーをアルミパックで包みます。



②ダイアセンサーを抜き、測定結果が消えないうちに差し込みます。

DELが表示されます。

警告

感染を防ぐため、血液を吸引したダイアセンサーはアルミパックで包んで抜き差ししてください。

参考 ダイアセンサーを抜き差しするたびに、**DEL**がついたり消えたりします。

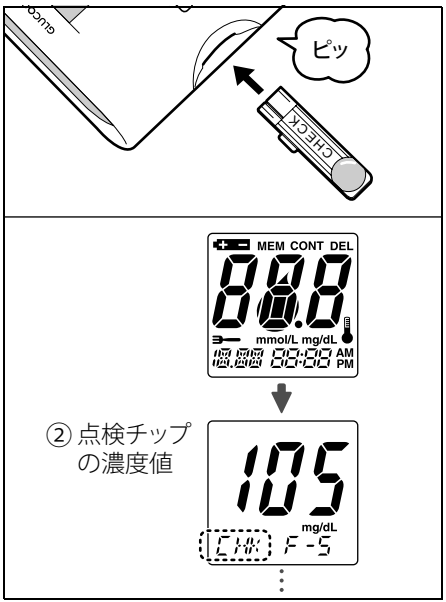
③廃棄レバーをスライドさせてダイアセンサーをはずします。電源が自動的に切れます。

これで、測定結果に**DEL**がついて記憶されました。

記憶データを呼び出す

血糖値の測定結果、コントロール液の測定結果、食事開始時刻記憶データ（66ページ参照）はあわせて250件まで自動的に記憶されます。記憶されたデータは新しいものから順に表示できます。

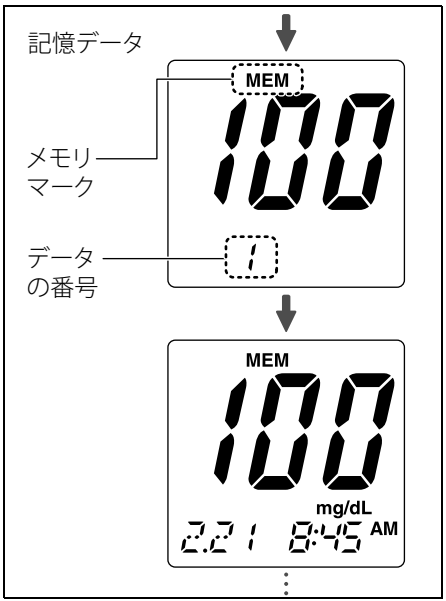
参考 250件を超えた場合は、古い記憶データから順に消去されます。



①点検チップ（黄色）をセンサー挿入口に差し込みます。

「ピッ」と鳴って電源が入り、表示部が全表示します。

②2秒後、点検チップの濃度値（CHK）が表示されます。これは記憶データではありません。

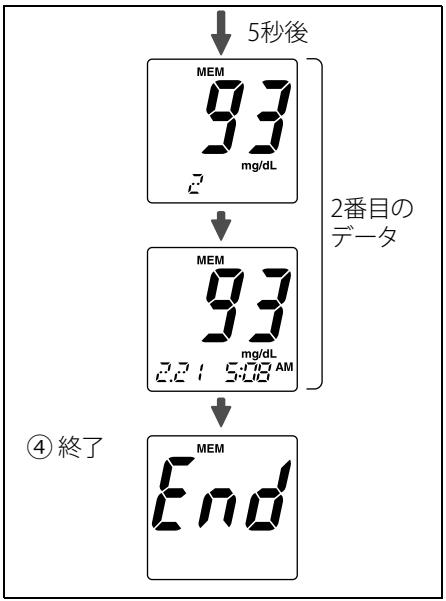


③10秒後、「ピッ」と鳴って最新の記憶データが表示されます。

参考 左図は血糖値の測定結果の例です。
その他の画面例⇒123ページ参照

参考 平均値表示をオンに設定しているときは（77ページ参照）、平均値（AVG）が5秒間表示されたあと、記憶データが表示されます。

参考 記憶データがない場合は、End が表示されます。



参考 5秒ごとに1つ古い記憶データが表示されます。

④最後の記憶データの次に End が表示されます。これで、記憶データの呼び出しは終わりです。

⑤点検チップを手で抜きます。2秒後に電源が切れます。

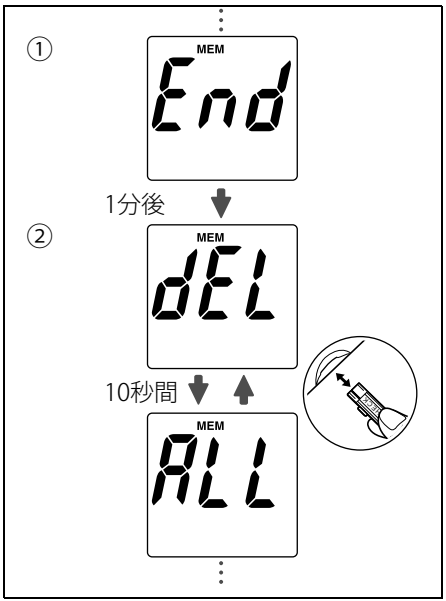
参考 呼び出しを中断するには
点検チップを手で抜いてください。2秒後に電源が切れます。

参考 早送りするには
記憶データの表示中に点検チップを抜き差しすると、31番以降、30番単位で記憶データを早送りできます。記憶データがないときは、End が表示されます。

例：1～30番目の表示中：　31番目へ
31～ 60番目の表示中：　61番目へ
⋮
241～250番目の表示中：End へ
End の表示中：　1番目へ
[平均値表示がオンのときは平均値（AVE）へ]

参考 End から1分すぎると、dEL と ALL が交互に表示されます。この場合は点検チップを手で抜いてください。2秒後に電源が切れます。

記憶データをすべて消去する

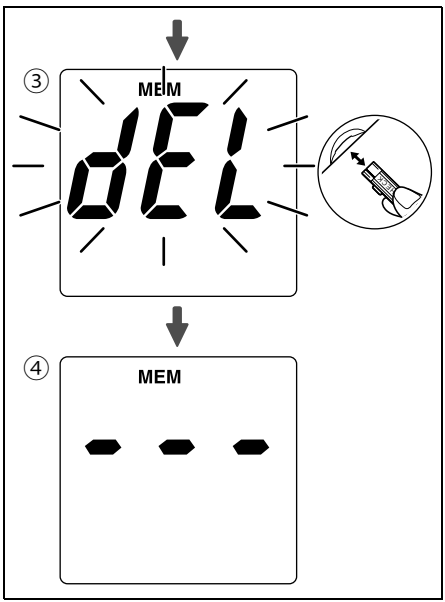


記憶データを一度にすべて消去することができます。

重要 **一度消去した記憶データは二度と呼び出せません。十分ご注意ください。**

①記憶データを呼び出し、最後の End が表示されるまで待ちます（61ページ参照）。

② 1 分後、dEL と ALL が交互に表示されたら、点検チップを抜き差しします。



③ dEL が点滅したら、もう一度、点検チップを抜き差しします。

④ - - - が表示され、2秒後に電源が切れます。これで、すべての記憶データが消去されました。

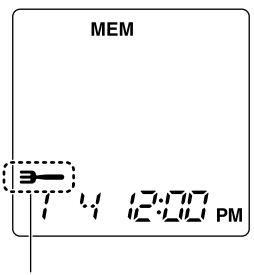
⑤点検チップを手で抜きます。

参考 記憶データの消去を中断するには
点検チップを手で抜いてください。End が2秒間表示されたあと、電源が切れます。

参考 End にもどってしまったときは
画面が変わってから点検チップの抜き差しをしないまま10秒すぎると、End にもどります。その場合、記憶データは消去されませんので、手順①から操作をやりなおしてください。なお、dEL と ALL の交互表示から End にもどる動作は3回繰り返されます。最後の End のまま1分すぎると、自動的に電源が切れます。この場合も記憶データは消去されません。

食事開始時刻を記憶させる

〈表示例〉
食事開始時刻の呼び出し

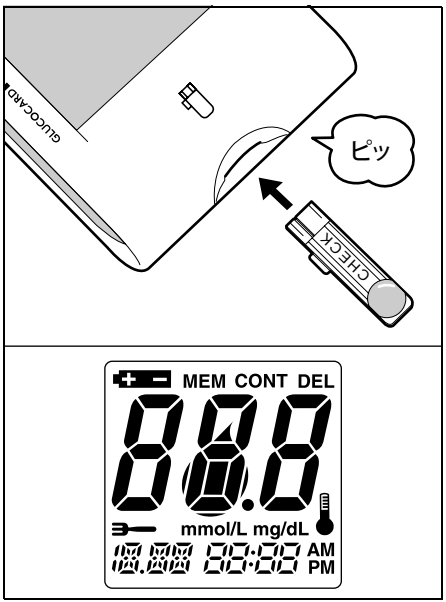


食事開始時刻を記憶させ、食事開始時刻からの経過時間（分単位、180分まで）を画面に表示することができます。食後の血糖値を管理するのに大変便利です。記憶した食事開始時刻はあとで呼び出して確認できます（58ページ参照）。

食事開始時刻を記憶させるには、食事開始時刻記憶機能をオンに設定しておく必要があります（78ページ参照）。

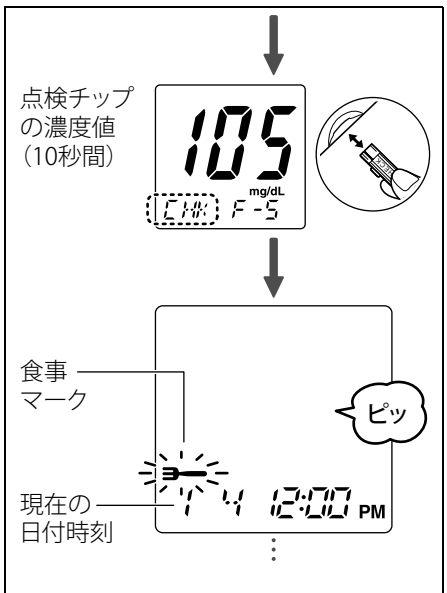
参考 **出荷時はオフに設定されています。**

参考 **食事開始時刻の記憶を中断するには、点検チップを手で抜いてください。**



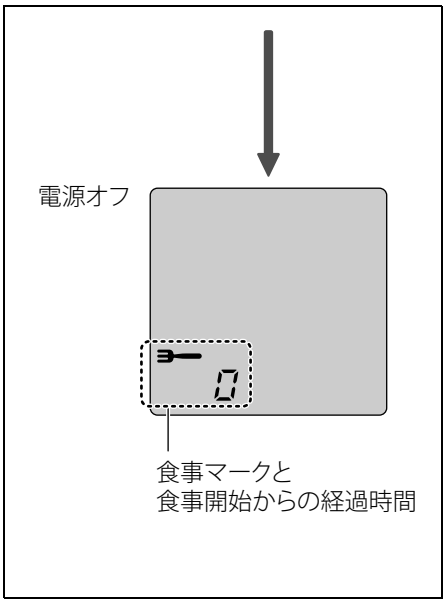
①点検チップ（黄色）をセンサー挿入口に差し込みます。

「ピッ」と鳴って電源が入り、表示部が全表示します。



②点検チップの濃度値（CHK）が表示されたら、点検チップを抜き差しします。

「ピッ」と鳴って、食事マーク（）が点滅し、現在の日付時刻が表示されます。



③しばらくすると電源が切れ、ヨーと食事開始時刻からの経過時間（分）が表示されます。

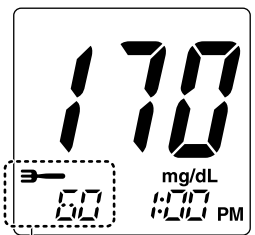
これで表示された日付時刻が記憶されました。

重要 **経過時間は分単位です。**

参考 **経過時間が表示されるのは、食事開始時刻から3時間（180分）までです。**

④点検チップを手で抜きます。

〈表示例〉
血糖値の測定結果



食事マークと
食事開始からの経過時間

⑤食事開始時刻を記憶してから3時間（180分）以内に血糖値を測定すると、測定結果の下に と食事開始時刻からの経過時間（分）が表示されます。

参考 **測定結果をあとで呼び出したとき（58ページ参照）にも、 と経過時間（分）が表示されます。**

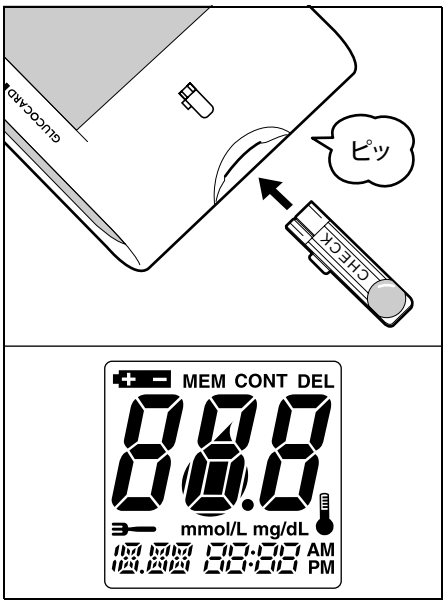
各種機能の設定

グルコカード　マイダイアでは、必要に応じて以下の機能が設定できます。

機 能	説 明	出荷時
ブザー音	ブザー音の種類を変更します（76ページ参照）。	高い音
平均値表示	測定結果の呼び出しの最初に測定結果の平均値を表示できます（77ページ参照）。	オフ
食事開始時刻記憶	食事開始時刻を記憶できるように設定します（78ページ参照）。	オフ

参考 **上記の機能は付属の点検チップを使って設定します。専用ソフトウェア（医療従事者用）をインストールしたパソコンからでも設定できますので、詳しくは販売元にお問い合わせください。**

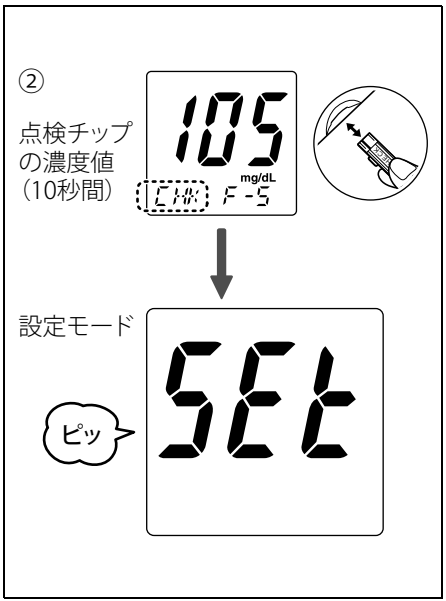
各種機能の設定モードに切り替える



各種機能の設定モード（SEt）に切り替える方法について説明します。

①点検チップ（黄色）をセンサー挿入口に差し込みます。

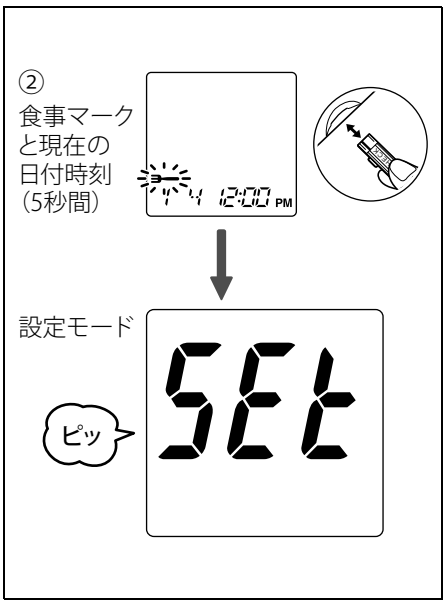
「ピッ」と鳴って電源が入り、表示部が全表示します。



②点検チップの濃度値（CHK）が表示されたら、点検チップを抜き差しします。

「ピッ」と鳴って、SEtが表示されます。これで、設定モードに入りました。このあとは、必要な設定の説明をお読みください（76〜78ページ参照）。

参考 **設定モードを終了するには、手で点検チップを抜いてください。2秒後に電源が切れます。**



重要 **食事開始時刻記憶がオンのときは、以下の手順で設定モードに切り替えます。**

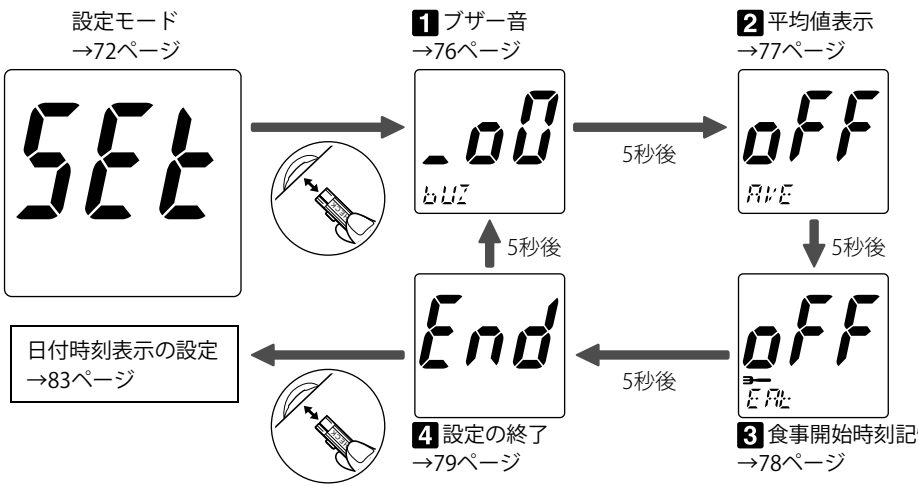
①72ページ 手順①と73ページ 手順②にしたがって操作します。

②食事マーク（ ）が点滅したら、すぐに点検チップを抜き差しします。

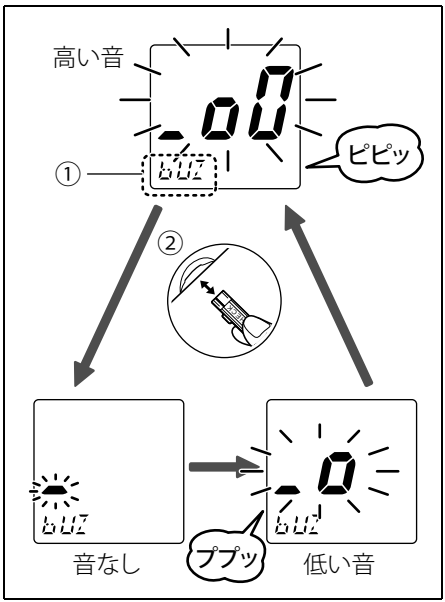
「ピッ」と鳴って、SEtが表示されます。これで、設定モードに入りました。

設定画面の流れ

各種機能の設定モード（SEt）に入ったあと、点検チップを抜き差しすると、設定画面が以下の順に自動的に表示されます。



1 ブザー音の設定



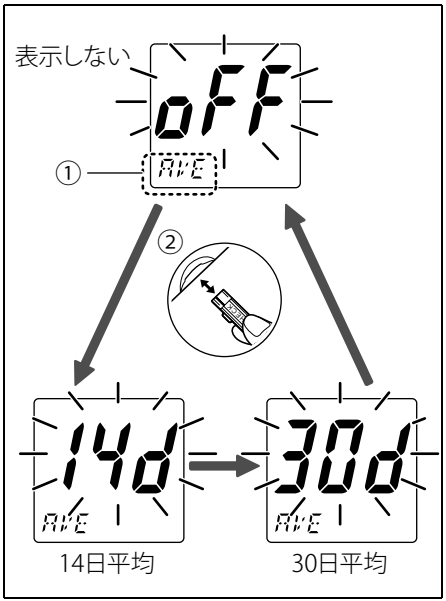
ブザー音は「高い音」「低い音」「音なし」の3種類から選択できます。

①SEtの表示（72ページ参照）で点検チップを抜き差しすると、buZが表示され、現在の設定の音が1回鳴ります。

②buZの表示中（5秒間）、点検チップを抜き差しするたびに設定を変更できます。

参考 **設定を終了するには点検チップを抜きます。**

2 平均値表示の設定



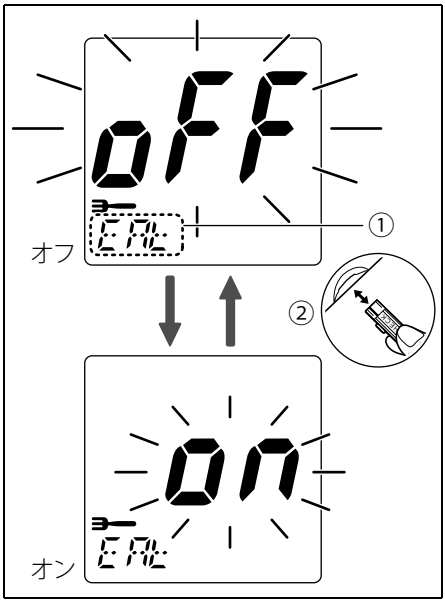
記憶データを呼び出したとき（58ページ参照）、最初に14日間または30日間の測定結果の平均値を表示できます。

①SEtの表示（72ページ参照）で、点検チップを抜き差ししたあと、AVEが表示されるまで待ちます。

②AVEの表示中（5秒間）、点検チップを抜き差しするたびに設定を変更できます。

参考 **設定を終了するには点検チップを抜きます。**

3 食事開始時刻記憶の設定



食事開始時刻を記憶させる（66ページ参照）には、はじめに以下の手順で食事開始時刻記憶をオンに設定しておきます。

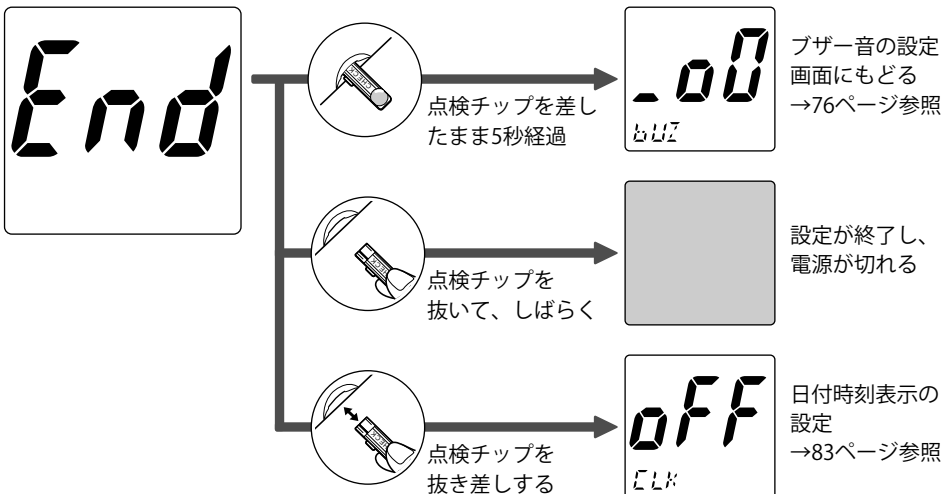
①SEtの表示（72ページ参照）で点検チップを抜き差ししたあと、EALが表示されるまで待ちます。

②EALの表示中（5秒間）、点検チップを抜き差しするたびに設定を変更できます。

参考 設定を終了するには点検チップを抜きます。

4 End表示

最後の設定画面（EPW）から点検チップを差し込んだまま5秒たつと、Endが表示されます。



MEMO

日付時刻表示の設定

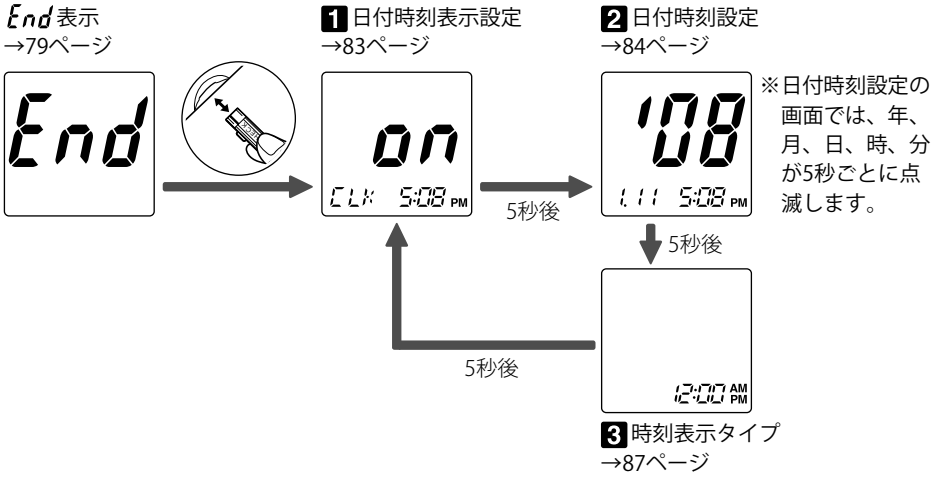
グルコカード　マイダイアは、出荷時に日付時刻を表示するように設定しています。必要であれば、測定中に日付と時刻を表示しないように設定できます。

機 能	説 明	出荷時
日付時刻表示設定	血糖値の測定やコントロール液の測定の際に、必要に応じて日付時刻の表示（表示/非表示）を切り替えることができます（83ページ参照）。	オン
日付時刻設定	内蔵時計の日付（年月日）と時刻を合わせます（84ページ参照）。	（設定済み）
時刻表示タイプ	時刻の表示形式（12時間表示と24時間表示）を切り替えます（87ページ参照）。	12時間表示

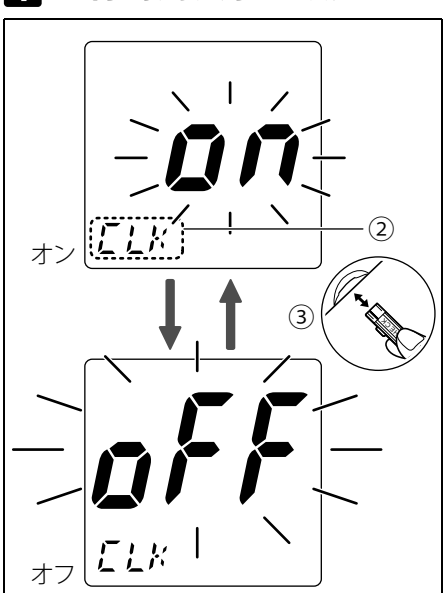
参考　上記の機能は付属の点検チップを使って設定します。専用ソフトウェア（医療従事者用）をインストールしたパソコンからも設定できますので、詳しくは販売元にお問い合わせください。

日付時刻表示の設定モードに切り替える

日付時刻表示の設定モードに切り替えるには、End表示で点検チップを抜き差しします。そのあと、設定画面が以下の順に自動的に表示されます。



1 日付時刻表示の設定



血糖値の測定やコントロール液の測定の際に、必要に応じて日付時刻の表示/非表示を切り替えることができます。

①SEtの表示（72ページ参照）で点検チップを抜き差ししたあと、Endが表示されるまで待ちます。

②Endの表示中（5秒間）に点検チップを抜き差ししたあと、CLKが表示されるまで待ちます。

③CLKの表示中(5秒間)、点検チップを抜き差しするたびに設定を変更できます。

参考 終了するには点検チップを抜きます。

2 日付時刻の設定

内蔵時計の日付と時刻を合わせます。

①SEtの表示（72ページ参照）で点検チップを抜き差ししたあと、Endが表示されるまで待ちます。

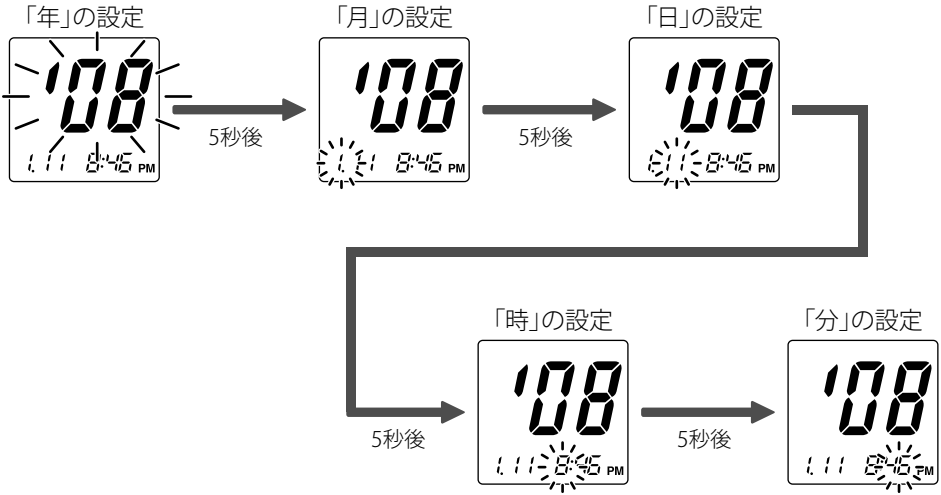
②Endの表示中（5秒間）、点検チップを抜き差ししたあと、日付時刻設定の画面が表示されるまで待ちます（86ページの手順③へ続く）。

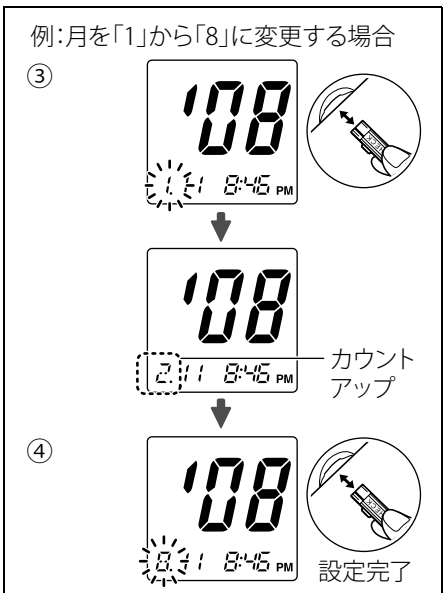
参考 日付時刻設定の画面では、5秒ごとに「年（西暦下2桁）」「月」「日」「時」「分」の順に点滅します（次ページ参照）。

参考 年は「'07～'39」の範囲で設定できます。「'39」の次は「'07」にもどります。

参考 現在の日付時刻の確認のみで終了するときは、手順②のあと点検チップを抜いてください。

〈日付時刻設定の画面〉





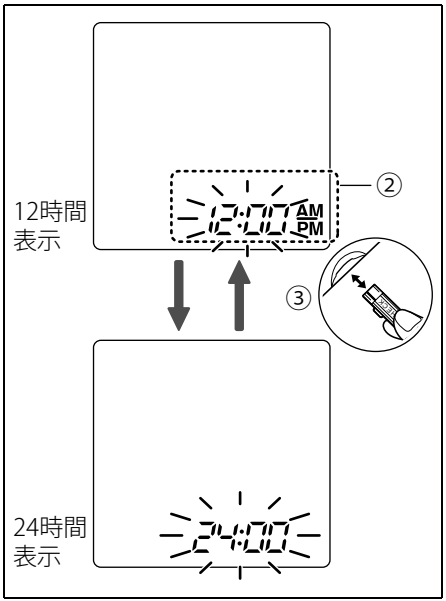
③変更したい項目の点滅中に、点検チップを抜き差しします。
数値がカウントアップします。

④設定したい数値が表示された時点で点検チップを抜き差しします。数値が止まり、再び点滅します。これで数値が設定されました。

⑤他の項目を設定するには、手順③から繰り返します。

参考 **設定を終了するには点検チップを抜きます。数値のカウントアップ中に点検チップを抜くと、抜くまでに進めた数値に設定されます。**

3 時刻表示タイプの設定



12時間/24時間表示を変更できます。

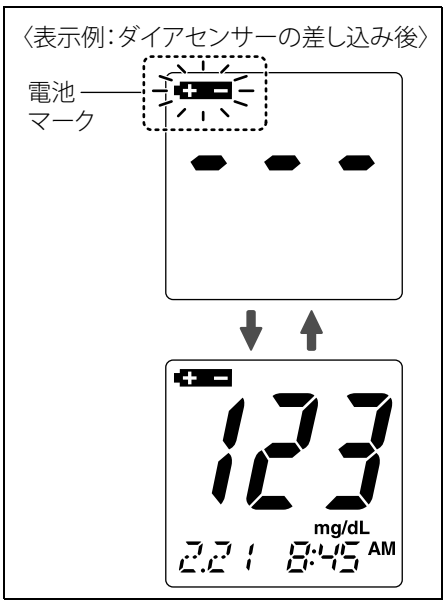
① SEt の表示（72ページ参照）で点検チップを抜き差ししたあと、End が表示されるまで待ちます。

② End の表示中（5秒間）に点検チップを抜き差ししたあと、12:00 または 24:00 が表示されるまで待ちます。

③ 12:00 または 24:00 の表示中（5秒間）、点検チップを抜き差しするたびに設定を変更できます。

参考 **設定を終了するには点検チップを抜きます。**

電池を交換する



電池が残り少なくなると、電池マーク（ ）が表示されます。ダイアセンサーを差し込んだときは、血液マークのかわりに - - - と前回の測定結果が交互に表示されます。すぐに新しい電池と交換してください。

重要 **が表示されているときに測定を行うと、測定中に電源が切れることがあります。**

参考 **電池の交換は、5 分以内を目安に完了してください（93ページ参照）。**

参考 **電池を交換しても、記憶データは消去されません。**

交換のしかた

リチウム電池CR2032, 1個

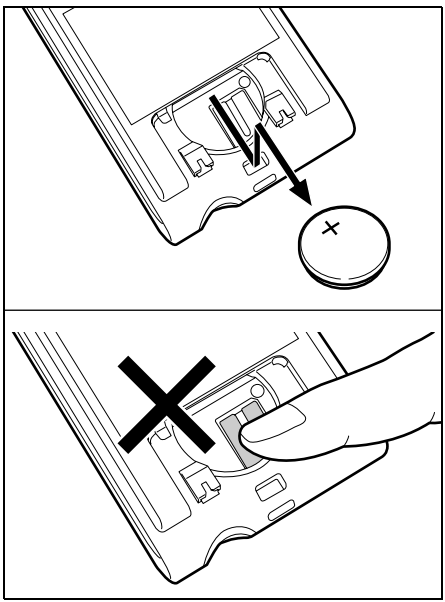
〈準備するもの〉
リチウム電池 CR2032（1個）

コンビニエンスストアや電気店で購入できます。

①電池カバーを開けます。▽ を親指で押さえながら下に引くとはずせます。

警告

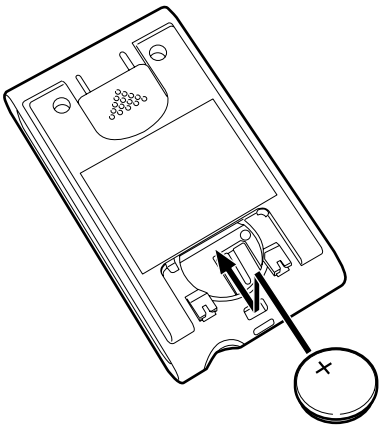
取りはずした電池カバーは乳幼児が誤って飲み込んだりしないよう、取り扱いには注意してください。



②古い電池を取りはずします。

注意

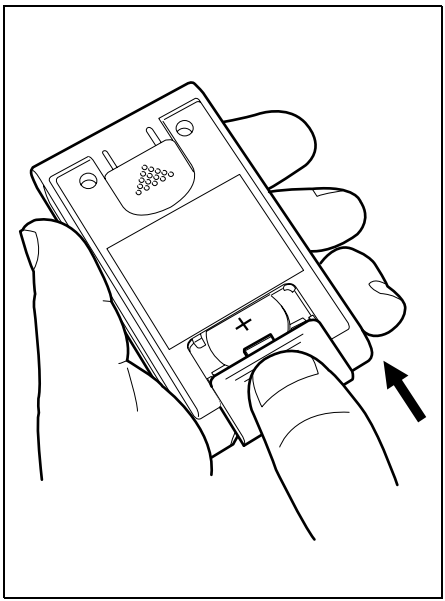
電池を取りはずしたときに現れる金属部分は手や金属で触らないでください。



「＋」面を上にする

③新しい電池の「＋」面を上にして入れます。

重要 **電池は正しい向きに入れてください。向きを間違えると作動しないだけでなく、日付時刻がリセットされることがあります（出荷時は、日付時刻を表示しないように設定されています）。**



④電池カバーを閉めます。カチッと音がすれば正しくセットされています。

警告

電池は乳幼児の手に届かないところに保管、または廃棄してください。万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

警告

使用済みの電池を加熱したり、火に投げ入れたりしないでください。破裂してけがを負うおそれがあります。

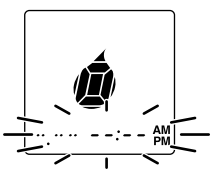
重要 **使用済みの電池は、定められた方法にしたがって廃棄してください。**

時計バックアップ機能について

グルコカード　マイダイアは時計バックアップ機能により、電池を交換しても内蔵時計（日付時刻の設定）がリセットされないようになっています。時計の設定は約5分間バックアップされますので、電池を交換するときは5分以内を目安に完了すると、交換後の時計の再設定が不要になります。ただし、以下のような場合は5分以内に電池を交換しても、時計がリセットされることがあります。

●電池マーク（ ）が表示されても、すぐに電池を交換しなかった場合
●電池を逆向きに入れ、そのまま5分以上放置した場合

参考 **日付時刻設定をオンに設定している場合、内蔵時計がリセットされると、ダイアセンサーを差し込んだときの日付時刻表示が‥‥ --:-- AM PMで点滅します。この場合は、日付時刻の設定をやりなおしてください（84ページ参照）。**



コントロール液を用いた精度確認

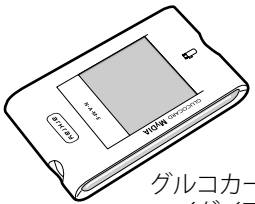
定められた濃度値のコントロール液を測定することにより、グルコカード　マイダイアとダイアセンサーの精度を確認します。精度確認は血糖値の測定をするたびに行う必要はありません。以下の条件に当てはまるときに行ってください。

- 血糖値を測定する前に、グルコカード　マイダイアとダイアセンサーの性能を確認したいとき
- グルコカード　マイダイアまたはダイアセンサーが正常に機能していないと感じるとき
- 測定結果が自覚症状と異なっており、おかしいと感じるとき
- 落下など、グルコカード　マイダイアに強い衝撃を与えたとき

参考 **コントロール液は、グルコカード　マイダイアには付属しておりません。販売元までお問い合わせください。**

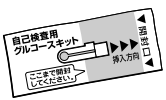
参考 **コントロール液の測定結果も記憶されますが、平均値の計算には含まれません**（77ページ参照）。

グルコカード　マイダイアでコントロール液を測定する方法を説明します。まず、以下のものを準備してください。

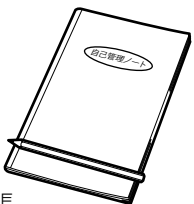


グルコカード
マイダイア

コントロール液



ダイアセンサー



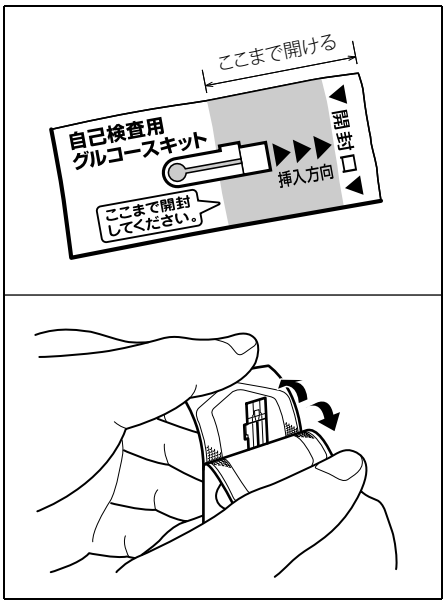
手帳
（自己管理ノートなど）

重要 コントロール液は20℃～30℃の温度範囲で測定してください。

重要 コントロール液に付属の添付文書をよくお読みになってからお使いください。

参考 コントロール液は、濃度の違いによりL（低値域）、N（正常域）、H（高値域）の3種類があります。

1 ダイアセンサーを開封する



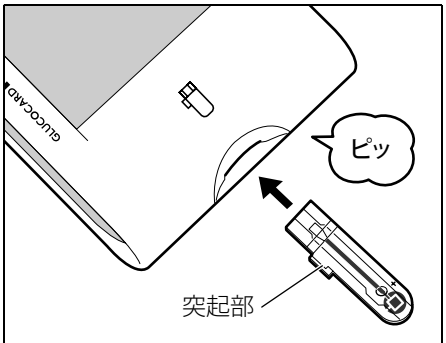
●アルミパックを開封範囲まで開け、ダイアセンサーを取り出します。

重要 アルミパックは全部開かないでください。全部開くと球状の乾燥剤が出てきます。この乾燥剤は無害ですが、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

重要 アルミパックは、ここではまだ捨てないでください。

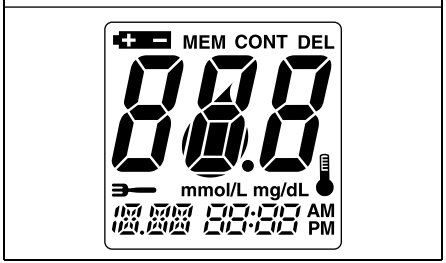
重要 開封後はダイアセンサーを長時間放置したり、手で持ったままにしないでください。濡れたり汚れたりした手では持たないでください。正しい測定結果が得られません。

2 ダイアセンサーを差し込む



●ダイアセンサーの裏表と向きを確認します（左図参照）。

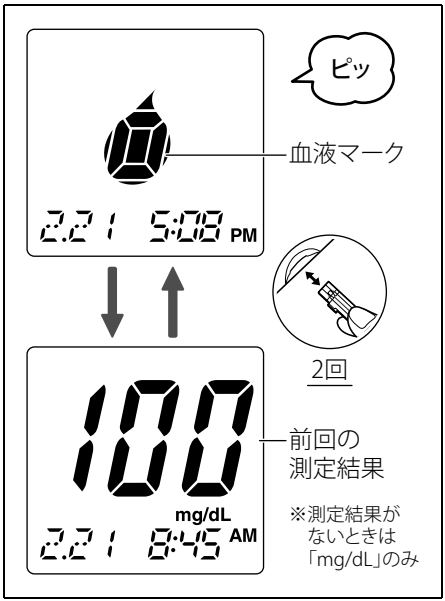
●ダイアセンサーをセンサー挿入口の奥までしっかりと差し込みます。



●「ピッ」と鳴って電源が入り、左図のように表示部が全表示します。

重要 この表示中はダイアセンサーにコントロール液を接触させないでください。測定できないことがあります。

3 コントロールモードに切り替える

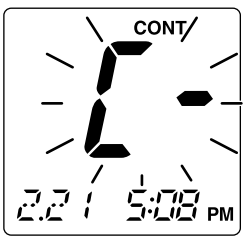


●もう一度、「ピッ」と鳴り、血液マーク（）と前回の測定結果が交互に表示されます。

この表示のあいだに、ダイアセンサーを抜き差しします。

●ヨーが表示されます。

●もう一度、ダイアセンサーを抜き差しします。

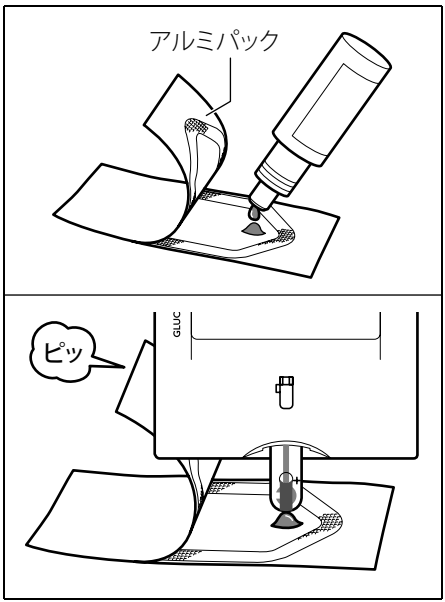


コントロールモード

● C-とCONTが点滅します。これでコントロールモードに切り替わりました。

参考 **この後のコントロール液の準備は3分以内におこなってください。3分たつと自動的に電源が切れます。**

4 コントロール液を接触させる



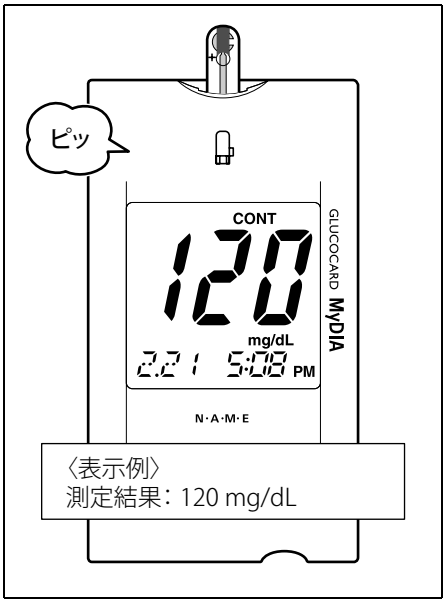
●残しておいたアルミパックの内側に、コントロール液を一滴落とします。

重要 **コントロール液は、必ずふたをしっかりと閉めて保存してください。ふたがゆるんでいると濃度が変化します。**

参考 **コントロール液に触れても、感染の危険など人への害はありません。**

●ダイアセンサーの先端を、コントロール液の先端に接触させます。「ピッ」と鳴って、測定終了までの時間（14秒〜）が表示されます。

5 測定結果を判定する



●15秒後に「ピッ」と鳴って、測定結果が表示されます。

コントロール液の添付文書に記載されている期待値の範囲内であれば、グルコカード　マイダイアおよびダイアセンサーは正常です。

重要 **範囲外のときは** **⇒108ページ参照**

参考 **コントロール液の測定結果も手帳（自己管理ノートなど）に記録して精度管理にご利用ください。**

6 ダイアセンサーを捨てる

●廃棄レバーをスライドさせ、ダイアセンサーをはずします。電源が自動的に切れます。

参考 **コントロール液に触れても、感染の危険など人への害はありません。**

操作方法に困ったときは

グルコカード　マイダイアのご使用中に「故障かな？」と思ったときや、操作方法に困ったときにお読みください。お読みになっても問題が解決しないときは、販売元にお問い合わせください。

質問1 ：血液を接触させても測定が開始しないときは？ P105
質問2 ：測定結果がおかしいと感じるときは？ P106
質問3 ：ダイアセンサーを差し込んでも表示が出ないとき、または
すぐに消えてしまうときは？ P107
質問4 ：動作チェックで点検チップの濃度値が濃度範囲に
入らないときは？ P108
質問5 ：コントロール液を測定した結果が期待値の範囲内に
入らないときは？ P108
質問6 ：測定結果が Hi または Lo と表示されるときは？ P109
質問7 ：エラー番号（E-1～E-9）が表示されるときは？ P110
質問8 ：電池マーク（＋ －）が表示されるときは？ P110
質問9 ：温度エラーマーク（🌡）が表示されるときは？ P111

質問10：ブザー音が鳴らないときは？ P112
質問11：平均値が表示されないときは？ P112
質問12：食事開始時刻の記録ができないときは？ P113
質問13：食事開始時刻からの経過時間が表示されないときは？.....P114
質問14：日付時刻表示で‥… --:-- AM/PMが点滅するときは？ P115
質問15：ダイアセンサーまたは点検チップを抜き差ししても、
説明どおりに機能設定の操作ができないときは？ P115

質問1：血液を接触させても測定が開始しないときは？

以下のことを確認してください。

●血液またはコントロール液を一度吸引させたダイアセンサーを再度使用しませんでしたか？

●ダイアセンサーをセンサー挿入口の奥までしっかりと差し込んでいますか？⇒35ページ参照

●血液マーク（ ）と前回の測定結果が交互に表示されているあいだに、血液を接触させましたか？⇒40ページ参照

●ダイアセンサーの先端に正しく血液を接触させていますか？⇒41ページ参照

質問2：測定結果がおかしいと感じるときは？

以下のことを確認してください。

- 血液またはコントロール液を一度吸引させたダイアセンサーを再度使用しませんでしたか？
- ダイアセンサーの使用期限が過ぎていませんか？
- ダイアセンサーのアルミパックを長時間開けたままにしていませんでしたか？
- 温度エラーマーク（ ）が表示されていませんか？⇒111ページ参照
- グルコカード　マイダイアを使用する場所に移動してから20分以上経過しましたか？
- ダイアセンサーの先端に正しく血液を接触させていますか？⇒41ページ参照

●コントロール液を使って精度確認をしてください。⇒94ページ参照
●点検チップを使って、グルコカード　マイダイアの動作チェックをしてください。⇒24ページ参照

質問3：ダイアセンサーを差し込んでも表示が出ないとき、またはすぐに消えてしまうときは？

以下のことを確認してください。
●ダイアセンサーをセンサー挿入口の奥までしっかりと差し込んでいますか？⇒35ページ参照
●電池は正しく入っていますか？⇒91ページ参照
●電池が消耗している可能性があります。新しい電池と交換してください。⇒88ページ参照

質問4：動作チェックで点検チップの濃度値が濃度範囲に入らないときは？

●高湿度環境、または急激な温度変化により、測定器内部に水滴がついている可能性があります。グルコカード　マイダイアを乾燥した場所に20～30分以上放置してから動作チェックをやりなおしてください。それでも濃度範囲に入らないときは、販売元にお問い合わせください。

質問5：コントロール液を測定した結果が期待値の範囲内に入らないときは？

以下のことを確認してください。

●血液またはコントロール液を一度吸引させたダイアセンサーを再度使用しませんでしたか？

●ダイアセンサーまたはコントロール液の使用期限が過ぎていませんか？

●ダイアセンサーのアルミパックを長時間開けたままにしていませんでしたか？

●コントロール液のふたを開けたまま、またはふたをしっかり閉めないまま、長時間放置していませんでしたか？

●温度20℃～30℃の範囲以外でコントロール液の測定をしませんでしたか？
⇒コントロール液の添付文書を参照してください。

質問6：測定結果が Hi または Lo と表示されるときは？

●血糖値が600 mg/dLより高いときは Hi、20 mg/dLより低いときは Lo と表示されます。新しいダイアセンサーを使って、測定しなおしてください。それでも同じ表示がでるときは、症状がいちじるしく悪化している可能性があります。すぐにかかりつけの医師に相談してください。

質問7：エラー番号（E-1～E-9）が表示されるときは？

●表示されたエラー番号の解説を読みください。⇒133ページ参照

質問8：電池マーク（＋ －）が表示されるときは？

●電池が残り少なくなりました。すぐに、新しい電池と交換してください。⇒88ページ参照

質問9：温度エラーマーク（🌡）が表示されるときは？

●グルコカード　マイダイアの機器温度が0～10℃の範囲にあります。この温度範囲での測定結果は、適正温度での測定結果に比べて精度が低くなりますので、参考値としてください。

●正しい測定結果を得るには、グルコカード　マイダイアとダイアセンサーを温度10℃～40℃の場所に置き、20分以上なじませてください。温度エラーマーク（🌡）が表示されなくなったことを確認して、測定しなおしてください。⇒12ページ参照

重要 **温度エラーマーク（🌡）が表示されたまま測定すると、測定結果に温度エラーマークがつきます。この測定結果も記憶されますが、平均値の計算には含まれません。**

質問10：ブザー音が鳴らないときは？

●ブザー音がオフに設定されていませんか？ブザー音を鳴らしたい場合は、ブザー音を _oN（高い音）または _o（低い音）に設定してください。⇒76ページ参照

質問11：平均値が表示されないときは？

●平均値表示機能がオフに設定されていませんか？（出荷時はオフです。）平均値を表示したい場合は、14d または 30d に切り替えてください。⇒77ページ参照

質問12：食事開始時刻の記憶ができないときは？

●食事開始時刻記憶がオフに設定されていませんか？出荷時はオフに設定されています。食事開始時刻を記憶させたい場合は食事開始時刻記憶をオンに切り替えてください。⇒78ページ参照

参考 **食事開始時刻記憶をオンに設定したあと、食事開始時刻を記憶させてください。（66ページ参照）**

質問13：食事開始時刻からの経過時間が表示されないときは？

●食事開始時刻を記憶してから3時間（180分）を超えていませんか？経過時間が表示されるのは食事開始時刻を記憶してから3時間（180分）以内です。
●内蔵時計がリセットされていませんか？日付時刻を設定しなおしてから食事開始時刻を記憶させてください。⇒84ページ参照
●食事開始時刻を記憶させたあとに日付時刻の設定を変更していませんか？食事開始時刻を記憶させてから3時間（180分）以内に日付時刻の設定を変更すると、経過時間は表示されなくなります。
●食事開始時刻を記憶させたあと記憶データを消去していませんか？食事開始時刻を記憶させてから3時間（180分）以内に記憶データを消去すると、経過時間は表示されなくなります。

質問14：日付時刻表示で‥.‥‥ --:-- AM PMが点滅するときは？

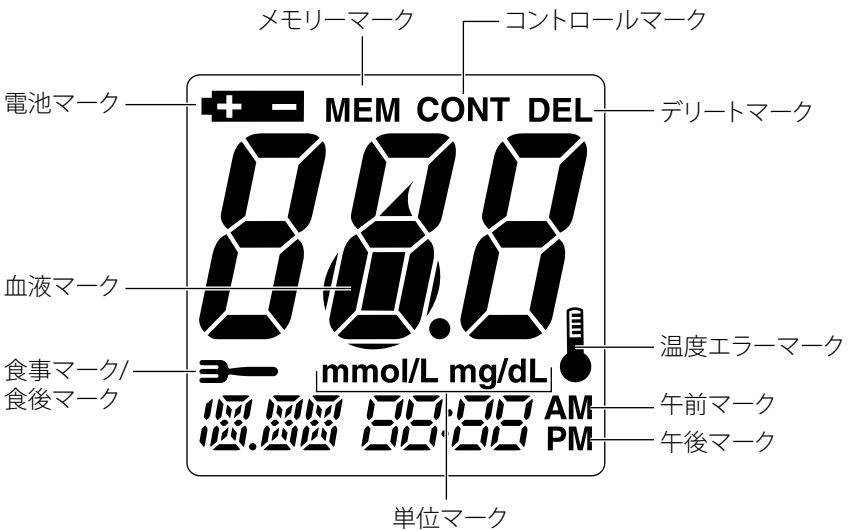
●内蔵時計がリセットされています。日付時刻設定をやりなおしてください。⇒84ページ参照

質問15：ダイアセンサーまたは点検チップを抜き差ししても、説明どおりに機能設定の操作ができないときは？

●ダイアセンサーまたは点検チップを正しく抜き差しするには、手で抜いたあと、2秒以内に差し込みます。⇒49ページ参照

表示部に表示される記号・マーク

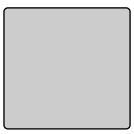
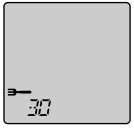
グルコカード　マイダイアに表示される記号やマークについて説明します。



電源が入ったとき

表示	解説
	全表示：センサー挿入口にダイアセンサーまたは点検チップを差し込み電源が入ると、最初にこの画面が表示され、グルコカード　マイダイアの自動チェックが行われます。

電源が切れているとき

表示	解説
	全消灯：電源が切れているときは、通常は何も表示されません。
	経過時間表示：食事開始時刻を記憶させたあと（66ページ参照）、電源が切れると、食事開始時刻からの経過時間（分）が表示されます。経過時間は、食事開始時刻を記憶させてから3時間（180分）まで表示されます。

動作チェック中 ⇒24〜27ページ参照

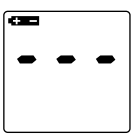
表示	解説
	点検チップを使って、グルコカード　マイダイアが正常に動作しているか確認します。測定結果が濃度範囲「95〜115 mg/dL」であれば正常です。 **参考**　F-5 の表示は、グルコカード　マイダイアが補正番号「F-5」のダイアセンサー専用であることを示します。

血糖値の測定中 (正常時) ⇒33〜48ページ参照

表示	解説
 	血液マークと前回測定結果の交互表示：ダイアセンサーに血液を吸引させるタイミングを示します。前回の測定結果がない場合は、血液マーク（）と単位（**mg/dL**）が交互に表示されます。

表示	解説
	カウントダウン：測定中であることを表わし、測定完了までの時間（14～1秒）が表示されます。
	測定結果：血糖値の測定結果です。 **参考 [左図の例] 血糖値：118 mg/dL**
	測定結果：食事開始時刻を記憶させてから3時間（180分）以内に血糖値を測定すると、測定結果の下に食後マークと食事開始時刻からの経過時間（分）が表示されます。 **参考 [左図の例] 血糖値：170 mg/dL、経過時間：60分**

血糖値の測定中 (異常時)

表示	解説
	高血糖値：血糖値が600 mg/dLより高いときに表示されます。新しいダイアセンサーを使って、測定しなおしてください。それでも同じ表示が出るときは、すぐにかかりつけの医師に相談してください。
	低血糖値：血糖値が20 mg/dLより低いときに表示されます。新しいダイアセンサーを使って、測定しなおしてください。それでも同じ表示が出るときは、すぐにかかりつけの医師に相談してください。
  	電池マーク：電池が残り少なくなりました。すぐに新しい電池（CR2032）と交換してください。電池が残り少ない場合、ダイアセンサーを差し込むと、血液マーク（ ）の代わりに - - - が表示されます（88ページ参照）。 **重要** **電池マークが表示されているときに測定を行うと、測定中に電源が切れることがあります。**

表示	解説
	温度エラーマーク：グルコカード　マイダイアの機器温度が0～10℃の範囲にあります。この温度範囲での測定結果は精度が低くなりますので参考値としてください。正しい測定結果を得るには、10～40℃の場所で20分以上なじませてください（111ページ参照）。

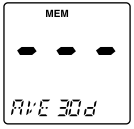
測定結果につけるマーク

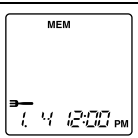
表示	解説
	食後マーク：食後の測定結果につけます。食後マークをつけるには、血液マーク（）と前回の測定結果が交互に表示しているあいだにダイアセンサーを抜いて、すぐに差し込んでから、血液を接触させます（50ページ参照）。
DEL	デリートマーク：明らかに正しい測定結果でないと思われる場合につけます。このマークをつけた測定結果は平均値の計算に含まれません。このマークをつけるには、測定結果の表示中にダイアセンサーを抜き、表示が消えないうちに差し込みます（55ページ参照）。

食事開始時刻の記憶中 ⇒66〜70ページ参照

表示	解説
	食事マーク：食事開始時刻記憶をオンに設定している場合（78ページ参照）、測定結果に食事開始時刻からの経過時間（180分以内）をつけて記憶させることができます。食事をはじめる時刻などを記憶させて、血糖値管理にご利用ください。

記憶データの呼び出し中 ⇒58〜62ページ参照

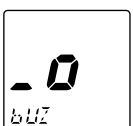
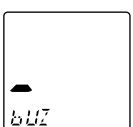
表示	解説
	平均値表示：最近14日または30日間の測定結果の平均値です。平均値は、平均値表示をオン（14dまたは30d）に設定している場合にかぎり、最新の記憶データの前に表示されます。 **参考 [左図の例] 最近30日間の測定結果の平均値：123 mg/dL**
	平均値表示（データなし）：平均値表示をオン（14dまたは30d）に設定しているが、最近14日または30日間に記憶された測定結果がない場合に表示されます。
	記憶データ（測定結果）：過去の測定結果が表示されます。 **参考 [左図の例] 血糖値：100 mg/dL**
	記憶データ（経過時間）：食事開始時刻を記憶させてから3時間（180分）以内の測定結果には、食事マークと食事開始時刻からの経過時間（分）が表示されます。 **参考 [左図の例]血糖値：260 mg/dL、経過時間：60分**

表示	解説
	記憶データ（食後）：食後マーク（ヨ―）をつけて記憶させた測定結果にはヨ―が表示されます。食後の測定結果であることを示します。
	記憶データ（**DEL**）：デリートマーク（**DEL**）を付けて記憶させた測定結果には**DEL**が表示されます。この記憶データは平均値の計算に含まれません。
	記憶データ（**CONT**）：コントロール液を測定したときの記憶データです。このデータは平均値の計算に含まれません。
	記憶データ（食事開始時刻）：食事開始時刻の記憶データには食事マーク（ヨ―）と時刻のみが表示されます。

記憶データの消去中 ⇒63〜65ページ参照

表示	解説
 	記憶データ消去の確認：dELとALLが交互に表示されます。この表示中に点検チップを抜いてまたすぐ差し込むと、dELが点滅します。 dELの点滅中にもう一度、点検チップを抜いてまたすぐ差し込むと記憶データがすべて消去され、- - -が表示されます。

設定モードでの操作中

表示	解説
	SEt：設定モードに入りました。このあと、5秒ごとに設定画面が切り替わります（72ページ参照）。
 	ブザー音の設定：ブザー音の設定ができます（76ページ参照）。点検チップを抜き差しするたびに、-（ブザー音なし）、-o（低い音）、-oo（高い音）に切り替わります。 **参考　出荷時：-oo（高い音）**

表示	解説
   	平均値表示の設定：測定結果の平均値表示が設定できます（77ページ参照）。点検チップを抜き差しするたびに、oFF（平均値なし）、14d（14日間の平均値）、30d（30日間の平均値）が切り替わります。14dまたは30dに設定すると、記憶データの呼び出しで、最初に平均値が表示されます。 **参考　出荷時：oFF（平均値なし）**

表示	解説
 	食事開始時刻記憶の設定：食事開始時刻記憶の設定ができます（78ページ参照）。点検チップを抜き差しするたびに、on（食事開始時刻記憶を使う）とoFF（食事開始時刻記憶を使わない）が切り替わります。 **参考 出荷時：oFF（食事開始時刻記憶を使わない）**
	End：各種機能の設定モードが終了しました（79ページ参照）。このとき、点検チップを抜いてまたすぐに差し込むと、日付時刻の設定モードに入ります。 **参考 End画面のまま5秒がすぎると、ブザー音の設定にもどります。**

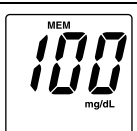
表示	解説
 	日付時刻表示の設定：日付時刻表示の設定ができます（83ページ参照）。点検チップを抜き差しするたびに、oFF（表示なし）とon（表示あり）が切り替わります。 **参考　出荷時：on（表示あり）**
	「年」「月」「日」「時」「分」の設定：日付時刻の設定ができます。（84ページ参照）。点検チップを抜き差しすると点滅している箇所の数字が自動でカウントアップします。5秒ごとに「年」「月」「日」「時」「分」の順で設定できます。年は’07～’39の範囲で設定できます。

表示	解説
 	時刻表示タイプの設定：時刻の表示方法を12時間表示（AM, PM）または24時間表示から選択できます（87ページ参照）。点検チップを抜き差しするたびに、12:00 と 24:00 が切り替わります。 **参考　出荷時：12:00（12時間表示）**

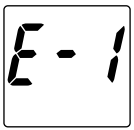
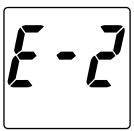
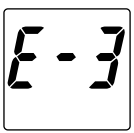
コントロール液の測定中 ⇒94〜102ページ参照

表示	解説
	コントロールモード表示：コントロール液の測定ができます。ダイアセンサーにコントロール液を接触させてください。
	コントロール液の測定結果：コントロール液の測定結果です。この測定結果も記憶されますが、平均値の計算には含まれません。

日付時刻表示をオフにしたとき ⇒83ページ参照

表示	解説
	以下の画面で日付時刻が表示されなくなります。 ・ダイアセンサー挿入直後の血液マークと前回測定結果の交互表示 ・測定中のカウントダウン ・血糖値とコントロール液の測定結果 ・コントロールモードの表示 **参考 [左図の例] 血液マークと前回測定結果の交互表示**
	記憶データの呼び出し

エラーの原因と対応方法

表示	原因	こうしてください
	グルコカード　マイダイアが故障しています。	販売元にお問い合わせください。
	測定温度の範囲外です。	温度10～40℃の場所にグルコカードマイダイアとダイアセンサーを移し、20分以上なじませてから測定をやりなおしてください。それでも「E-2」が表示されるときは販売元にお問い合わせください。
	グルコカード　マイダイアが故障しています。	販売元にお問い合わせください。

表示	原因	こうしてください
 	1. グルコカード　マイダイア内が結露している可能性があります。 2. グルコカード　マイダイアが故障しています。	温度10～40℃、湿度20～80%の場所にグルコカード　マイダイアとダイアセンサーを移し、20分以上放置してから測定をやりなおしてください。それでも「E-4」「E-5」が表示されるときは販売元にお問い合わせください。
	1. 血液またはコントロール液を一度吸引させたダイアセンサーが挿入されました。 2. 血液マークと前回測定結果が交互に表示される前に、血液を吸引させました。	1. 新しいダイアセンサーで測定をやりなおしてください。 2. 新しいダイアセンサーで測定をやりなおしてください。

表示	原因	こうしてください
	ダイアセンサーに吸引させる血液の量が不足していました。	新しいダイアセンサーを使用して、十分な量の血液を吸引させてください（41ページ参照）。

MEMO

仕様

名称	自己検査用グルコース測定器　グルコカード　マイダイア
型式	GT-1670
測定項目	血液中のグルコース
必要検体量	約2 μL（全血）
使用センサー	自己検査用グルコースキット（ダイアセンサー）
測定範囲	20～600 mg/dL
測定時間	点着検知後15秒
温度補正	内蔵温度センサーによる自動補正
外部入出力	通信用外部入出力端子　1個 *1
電池	3Vリチウム電池／CR2032（Panasonic製推奨）×1個
電池寿命	約2000測定以上 （使用方法によって、測定可能回数が少なくなることがあります。）
電池寿命表示	電池マーク点灯
消費電力	0.02 W（最大）
記憶データ数	250測定

使用環境	温度：10～40℃、湿度：20～80%（結露しないこと）
外形寸法	48.0×86.0×17.0（mm）
重量	約55 g
付属品	取扱説明書（1部） 添付文書（1部） 保証書・保証書登録カード（1部） 個人情報保護シール 収納ケース（1個） 点検チップ（1枚） リチウム電池CR2032（１個、装填済）

＊1：専用ソフトウェア（医療従事者用）を使ったパソコンでデータ管理ができます。詳しくは販売元にお問い合わせください。

参考 グルコカード　マイダイアは電池を装填して出荷しておりますので、お買い上げ後すぐに測定を開始していただけます。ただし、出荷時に装填されている電池は、記載の電池寿命を保証できません。

参考 製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

保証規定

グルコカード　マイダイア（GT-1670）の保証期間は、ご購入後3年間です。保証期間中に故障した場合には、良品と交換いたしますので、必ず保証書を添付してください。

ただし、次の場合は保証期間内であっても交換の対象となりません。

1. 使用上の不注意による故障ならびに損傷等
2. 天災・地変等の不測の出来事による故障ならびに損傷
3. 独自の修理・調整・改造等による故障
4. その他、製造販売元の責によらない故障ならびに損傷

重要 **保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。**

MEMO

画面・表示

12:00 87
24:00 87
ALL 63, 125
AVE 77, 123
buZ 76
C- 99
CHK 26, 118
CLK 83
CONT 99, 131
DEL 55, 121, 124
dEL 63, 125
E-1～E-9 133
EAL 78
End 61, 79, 128
F-S 26, 118
Hi 120
Lo 120
SEt 72, 126

あ行

温度エラーマーク（🌡）..... 121

か行

外部入出力端子 21
記憶データの消去 63, 125
記憶データの呼び出し 58, 123
血液マーク（🩸）..... 36, 118
血糖値の測定 33
コントロール液の測定 94, 131
コントロールモード 98, 131

さ行

採血器具 31
採血針 31
時刻表示タイプの設定 87, 130
食後マーク（🍽）..... 50, 121, 124
食事開始時刻記憶の設定 78, 128
食事開始時刻の記憶 66, 122
食事マーク（🍽）..... 66, 122, 124

精度確認 94
設定モード 72, 126
センサー挿入口 21
測定 33
測定結果 44, 101, 119, 123, 131

た行

ダイアセンサー 29
ダイアセンサーの抜き差し 49
デリートマーク（**DEL**）..... 55, 121, 124
電源が切れているとき 117
電源が入ったとき 117
点検チップ 23
点検チップの抜き差し 49
電池カバー 21
電池の交換 88
電池マーク（**+ −**）..... 88, 120
動作チェック 24, 118
時計バックアップ機能 93

は行

廃棄レバー 21
日付時刻の設定 84, 129
日付時刻表示 132
日付時刻表示の設定 83, 129
表示部 21, 116
ブザー音の設定 76, 126
平均値表示 123
平均値表示の設定 77, 127

製造販売元
株式会社アークレイ ファクトリー
滋賀県甲賀市甲南町柑子1480

販売元
アークレイ株式会社
京都市南区東九条西明田町57

・製品のお問合せは

アークレイ コールセンター
フリーダイヤル 0120-81-1955
6:00～22:00 (年中無休)

2012年2月改訂　83-01899C